

---

# 「Box」の導入効果を最大化する手法とは

～費用対効果の高いデータ一元集約・共有の実現方法を解説～

## セッション1

2023年12月21日

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社  
ファイルセキュリティ事業部

土屋 亨



何を目的にこの資料を  
ご覧になっているでしょうか

“

自社にとって  
ベストなPPAP対策の方針を決めたい

”

【貴社の目的】

“

”

# 自社にとって ベストなPPAP対策の方針を決めたい

決めたいけれど……

PPAP対策をうたう  
製品がたくさんある

その中から  
得する選択肢を  
選びたい

でも  
あまり時間を  
かけられない

PPAP対策をうたう  
製品がたくさんある

その中から  
得する選択肢を  
選びたい

でも  
あまり時間を  
かけられない

社会がコロナ禍を経験し  
ネットで情報を集めやすくなったけど……

**ビジネススピードが一段と早まった気がしませんか？**

# はじめに

ビジネススピードの加速が  
社会・企業に与える影響の感覚、を掴んでみる

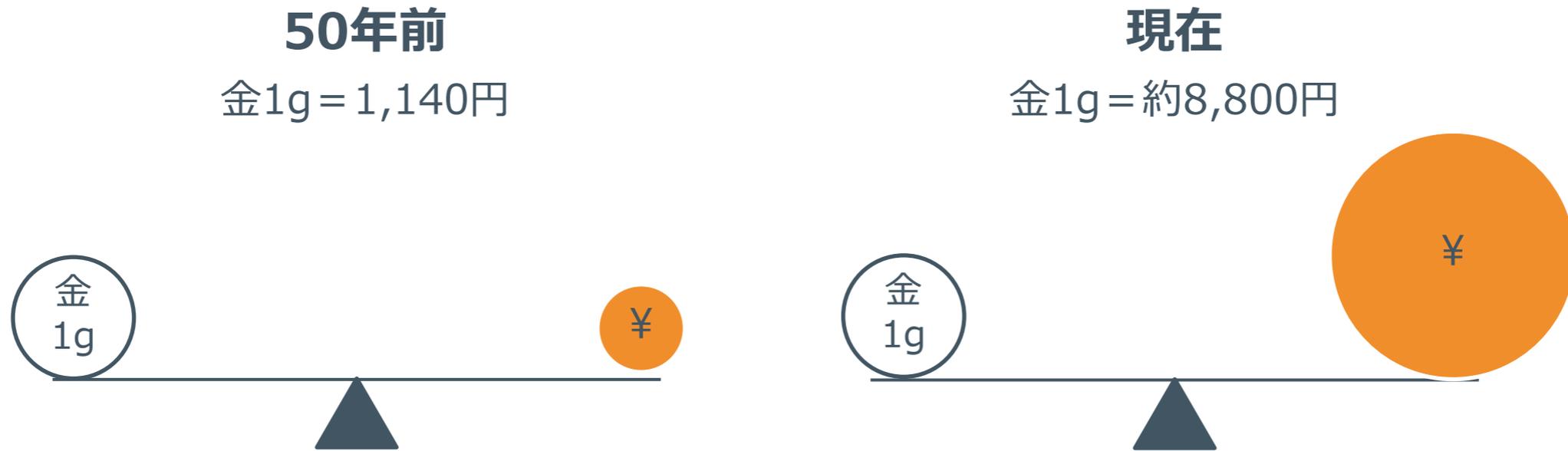
極端に単純化した前提で

ビジネススピードの加速が社会・企業に与える影響の感覚を掴んでみる

## ちょっとした思考実験

## インフレ社会における貨幣価値の考え方を拝借

# 50年前の1万円の価値は 今の1万円の価値と同一か？



## インフレが起きるとお金が多く必要

ビジネススピードの加速が社会・企業に与える影響の感覚を掴んでみる  
ちょっとした思考実験

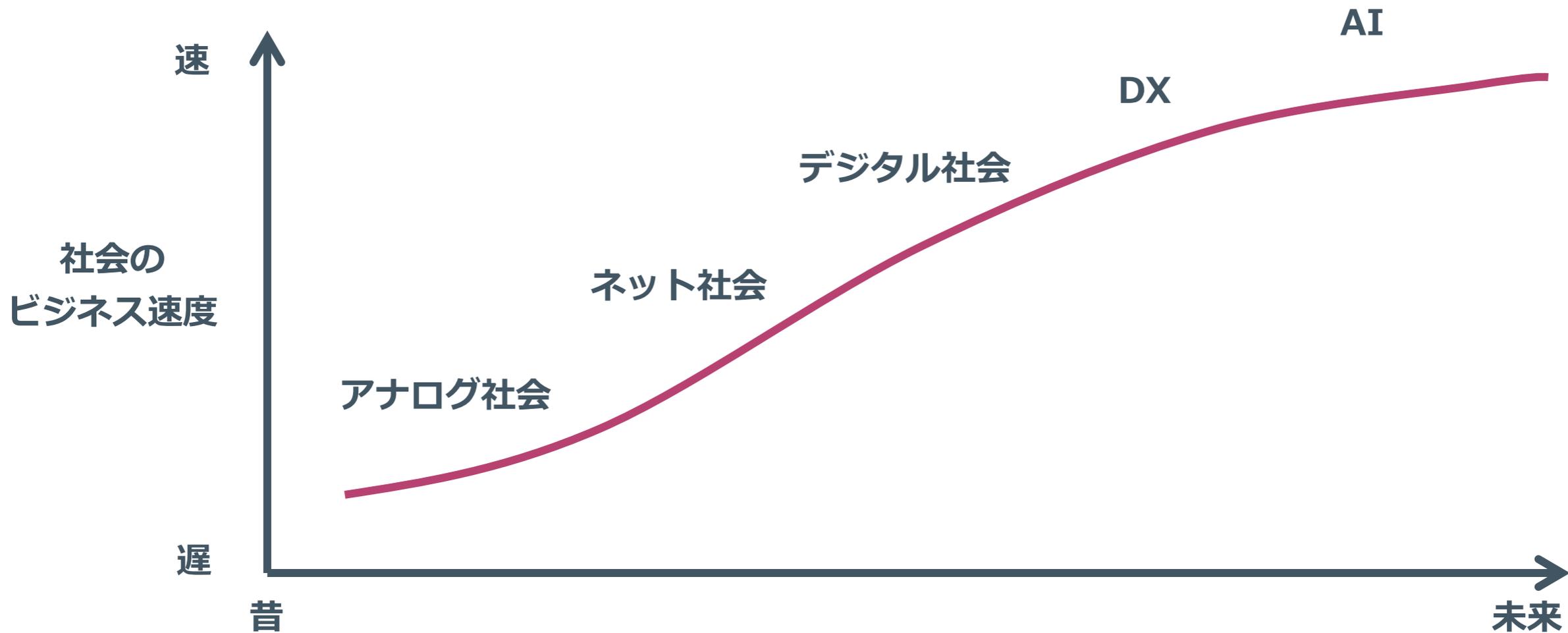
5年前の社会が60分を消費してできたことと  
今の社会が60分を消費してできることは同一か？



ビジネススピードがインフレすると  
(期待される) 成果が増える

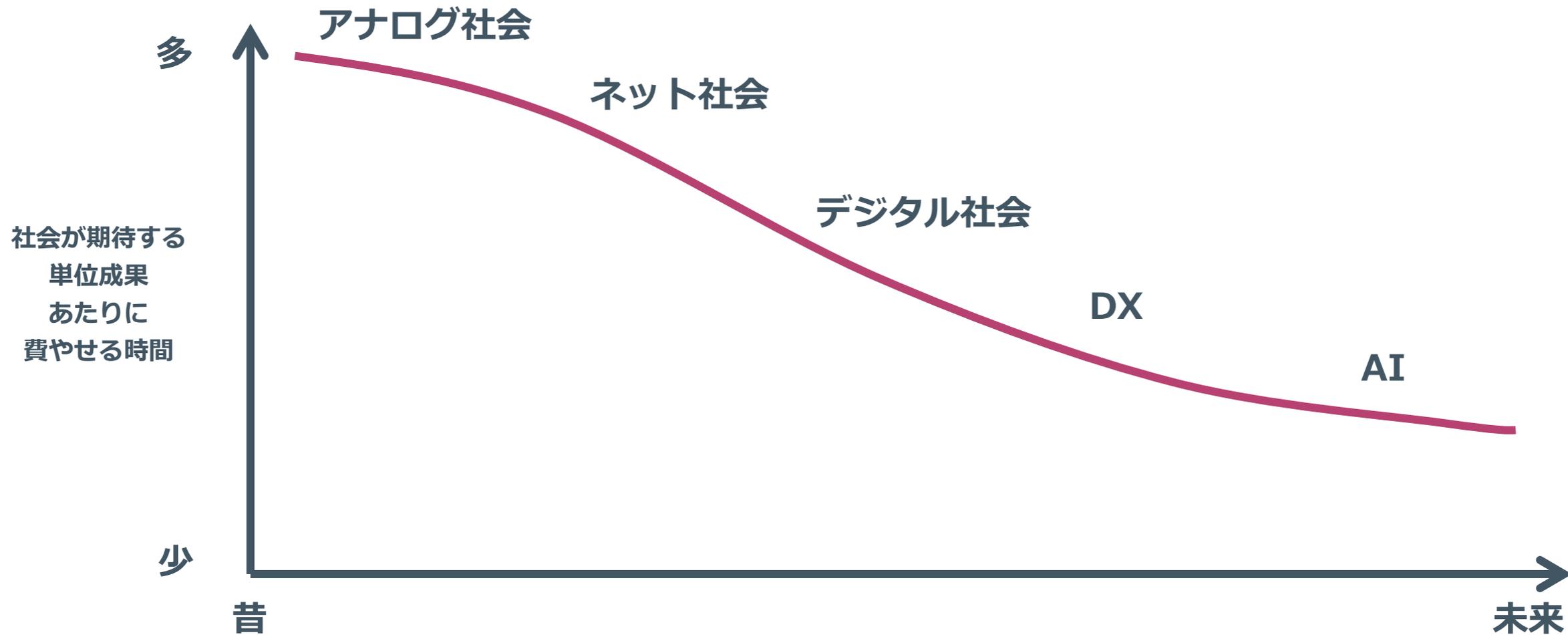
ビジネススピードの加速が社会・企業に与える影響の感覚を掴んでみる  
ちょっとした思考実験

## 毎年ビジネススピードがインフレしていると仮定



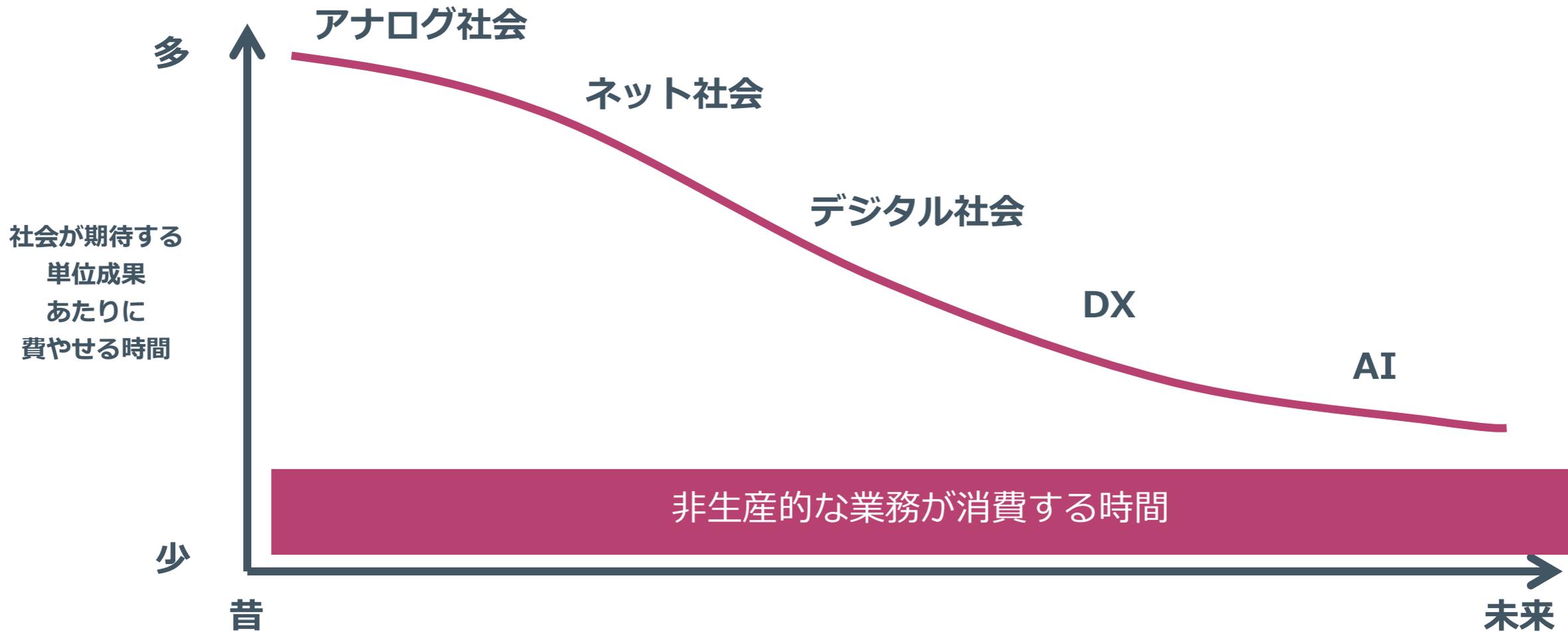
ビジネススピードの加速が社会・企業に与える影響の感覚を掴んでみる  
ちょっとした思考実験

## 社会が期待する、単位成果あたりに費やせる時間



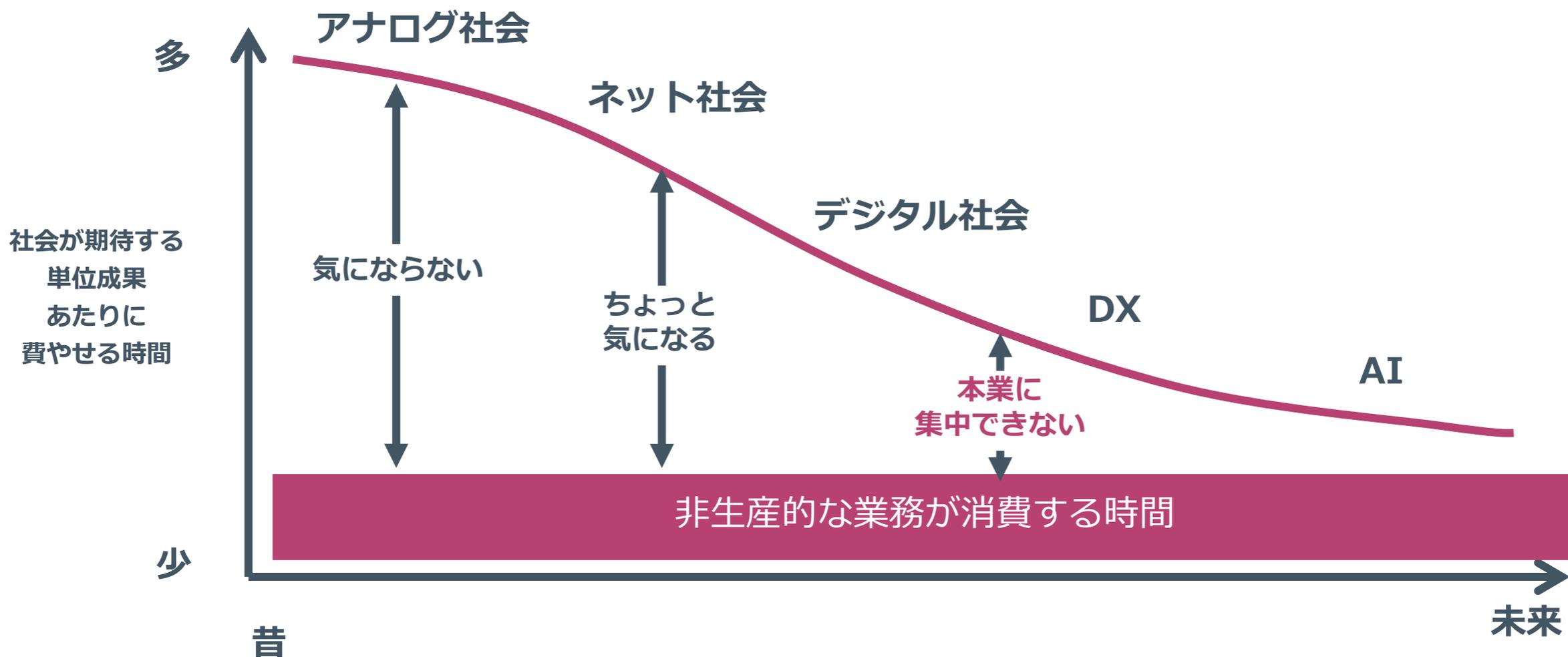
ビジネススピードの加速が社会・企業に与える影響の感覚を掴んでみる  
ちょっとした思考実験

昔から続く作業効率の悪い人材の業務が残っていたら？

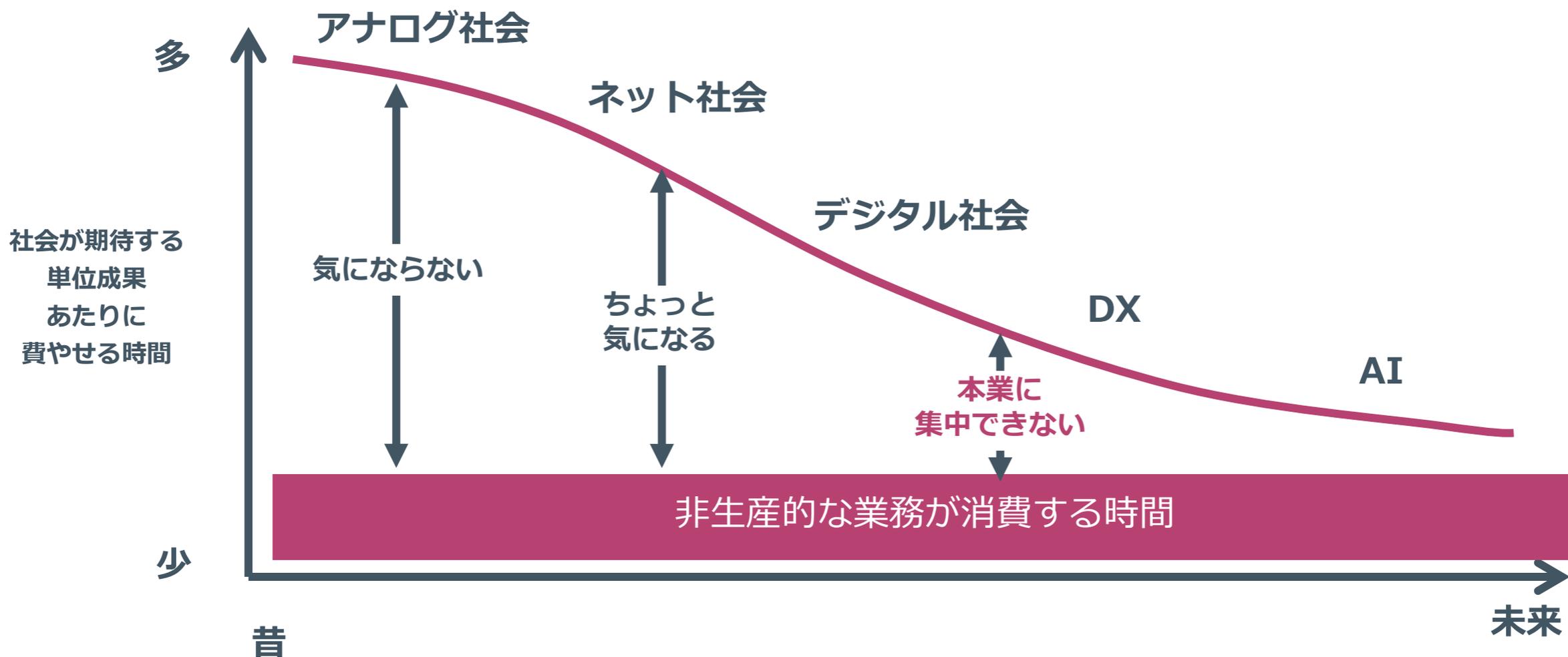


# ビジネススピードの加速が社会・企業に与える影響の感覚を掴んでみる ちょっとした思考実験

## 昔から続く作業効率の悪い人材の業務が残っていたら？



昔から続く作業効率の悪い業務  
前例踏襲、はんこ、ペーパー、PPAP、が残っていたら？



**社会のビジネススピードは市場の競争原理によってつくられる**

**カーブが緩やかな企業であっても  
社会情勢、技術革新、競合の台頭といった  
外部要因の急峻な変化でトレンドは大きく動く時代**

**PPAPの脱却は  
将来本業に集中する環境を手に入れる第一歩**

# 自己紹介

## 土屋 亨

専門/  
ファイル・ストレージセキュリティのクラウドソリューションの提案・設計・導入 など

### ■ 経歴

#### 2009年4月 | 株式会社野村総合研究所 入社

- **デジタルアイデンティティ、ID統合プロジェクト**  
OpenIDをコアテクノロジーとしたUni-ID事業に従事し、コンシューマID統合管理基盤のグランドデザイン、要件定義・設計支援および番号制度を視野に入れた事業企画をおこなう

#### 2014年5月 | 担当製品移管に伴い

#### NRIセキュアテクノロジーズ株式会社出向

- **自社特権ID、コンテンツセキュリティ商材のプリセールス**
  - ・ AccessCheck | 特権ID管理
  - ・ クリプト便 | セキュアファイル転送・共有

#### 2017年～現在 |

#### Boxを中心としたコンテンツセキュリティソリューションの提案、導入コンサルティングに従事

- **主なBox導入支援実績**
  - 大手情報通信業 全社導入 (1,500ライセンス規模)
  - 大手学習塾 全社導入 (1,500ライセンス規模)
  - 大手化粧品会社 全社導入 (1,200ライセンス規模)

### ■ 対外活動（これまでの主な活動）

#### 講演

- テレワークでBoxを安全に使う方法とは ～無料アカウントに潜む情報漏えいリスクと対策～
- テレワーク時代に求められるBoxのファイルセキュリティ対策とは
- 待ったなしの脱PPAPセミナー ～セキュリティ専門会社が提案する代替手段とは～
- ユーザ企業が語るBox導入事例ウェビナー

#### 執筆等

- ITソリューションフロンティア 2020年新春号（トピックス：ファイル共有のセキュリティ） 発行：野村総合研究所
- ITロードマップ2020年版（コラム：ファイル共有サービスにおけるセキュリティリスク） 発行：東洋経済新報社
- ITロードマップ2021年版（4.2章 ファイルコラボレーションのセキュリティ） 発行：東洋経済新報社



### ■ 保有資格

- Box Certified Professional(No.14493328)
- CISSP(No.626834)
- 情報処理安全確保支援士 第004671号



# PPAPに関する記事では多くの反響をいただきました

## 脱PPAP対策はなぜ必要？「パスワード付きzipファイル」の文化から脱却する方法

更新日：2020.11.19

公開日：2020.11.19



土屋 亨

クリプト便 情報漏洩対策 テレワークセキュリティ



引用： <https://www.nri-secure.co.jp/blog/break-away-from-the-password-protected-zip-file>

NRI

NRI トップ > NRI JOURNAL > PPAPからの脱却はDXの試金石

## NRI JOURNAL

未来へのヒントが見つかるイノベーションマガジン



## PPAPからの脱却はDXの試金石

NRIセキュアテクノロジーズ 土屋 亨

#サイバーセキュリティ

2021/07/02

Share

引用： <https://www.nri.com/jp/journal/2021/0702>

# 目的

自社にとって最適なPPAP対策の方針を決める

## 【目的】

“

自社にとって  
ベストなPPAP対策の方針を決める

”

## 課題①

いまなんとなくかなっているし  
PPAP対策必要かどうかははっきりしない

## PAPP対策は必要か？

# 自社を取り巻く外部環境の影響が無視できない

### 内部環境

#### ■ PPAPでのファイル送付がデメリットになりにくい企業の例

- そもそも社外にファイルを送る機会が少ないか、ない
- 扱うファイルの機密度が低く、漏洩しても問題にならない
- PPAP送付の手間を織り込んで業務が成り立っている
- 自動でパス付きZipにできる製品を導入したため送信側として手間がない

### 外部環境

#### ■ PPAPでのファイル送受信がデメリットになりやすい昨今の状況

- 取引先にPPAPを受け取ってもらえなくなった
  - 無償のファイル転送ツールを無断利用（シャドーITがもたらすリスク増）
- PPAPに偽装したマルウェアの手口が増加し、ランサムウェア被害も増えている
  - 社外からファイルを受け取る機会があるし、増えている
  - 受信した「パス付きZipを展開する」が基本動作になって手が勝手に動いている？

## 【目的】

“

自社にとって  
ベストなPPAP対策の方針を決める

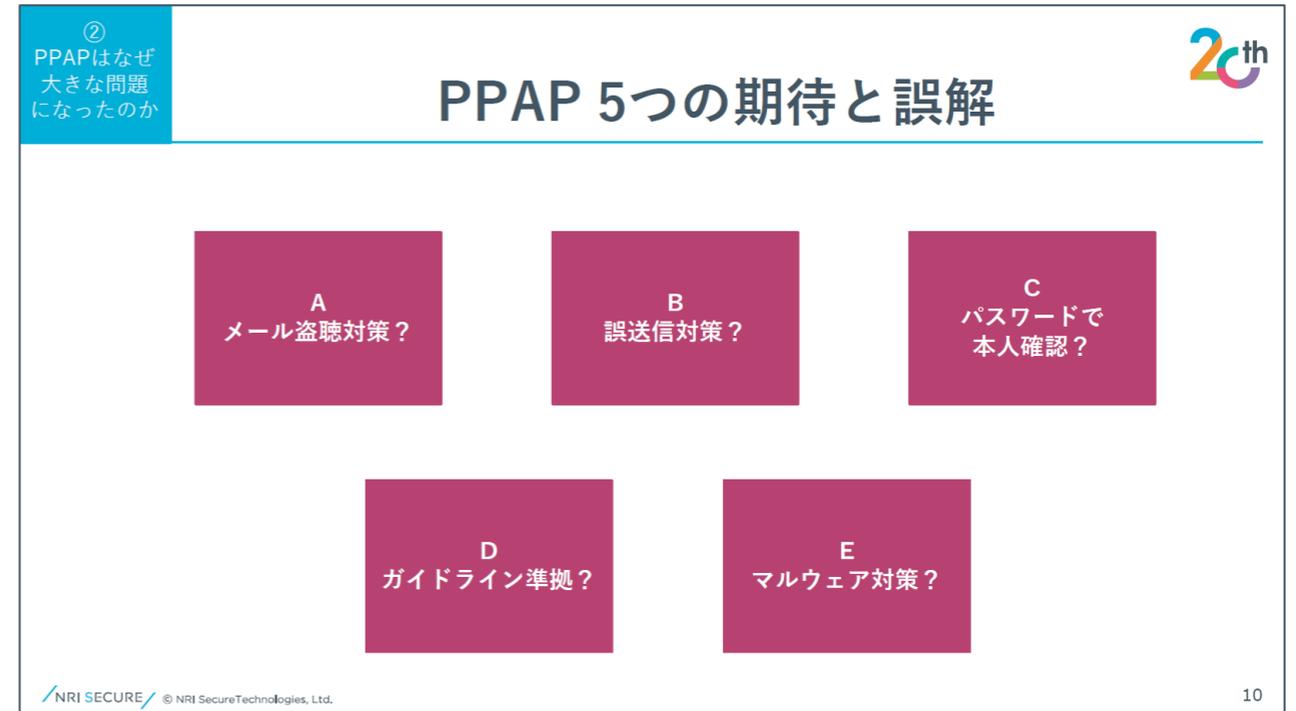
”

## 課題②

Zipファイルを辞めることを考えると  
クラウドサービスなら条件を満たしているように思える

# Zipファイルを辞めることがPPAP? 手段が目的になってしまふ。PPAPの目的、期待していた効果とは

## ■ 弊社ホワイトペーパーから引用



②  
PPAPはなぜ  
大きな問題  
になったのか

## A.メール盗聴対策への期待と誤解 盗聴対策になっていない

PPAPとは、仕組み上盗聴に弱いメールを使って  
安全なファイル交換を目指す工夫だったが…



ファイルとパスワード双方をメールで送信する  
現状では盗聴対策にならない



## B. 誤送信対策への期待と誤解 誤送信そのものを防げない

メールを誤送信してもパスワードを送らなければ  
取り返しがつくのではないか？



1通目の誤送信の時点で誤送信対策になっていない  
ファイルそのものが相手に渡るうえ、  
パスワードを解析されてしまう



③  
PPAPはなぜ  
大きな問題  
になったのか

## C. アクセス制御への期待と誤解 パスワードは容易に解析できる

パスワード付きzipファイルは暗号化されているから  
パスワードがバレなければ安全ではないか？



十分複雑で長いパスワードでない限り  
市販されているPCとツールを使って  
パスワードを総当りで試す時間は数秒～数時間



②  
PPAPはなぜ  
大きな問題  
になったのか

## D. ガイドライン準拠への期待と誤解 PPAPは推奨されない

プライバシーマークの付与審査に合格するためには  
PPAPでの送付が必要ではないか？



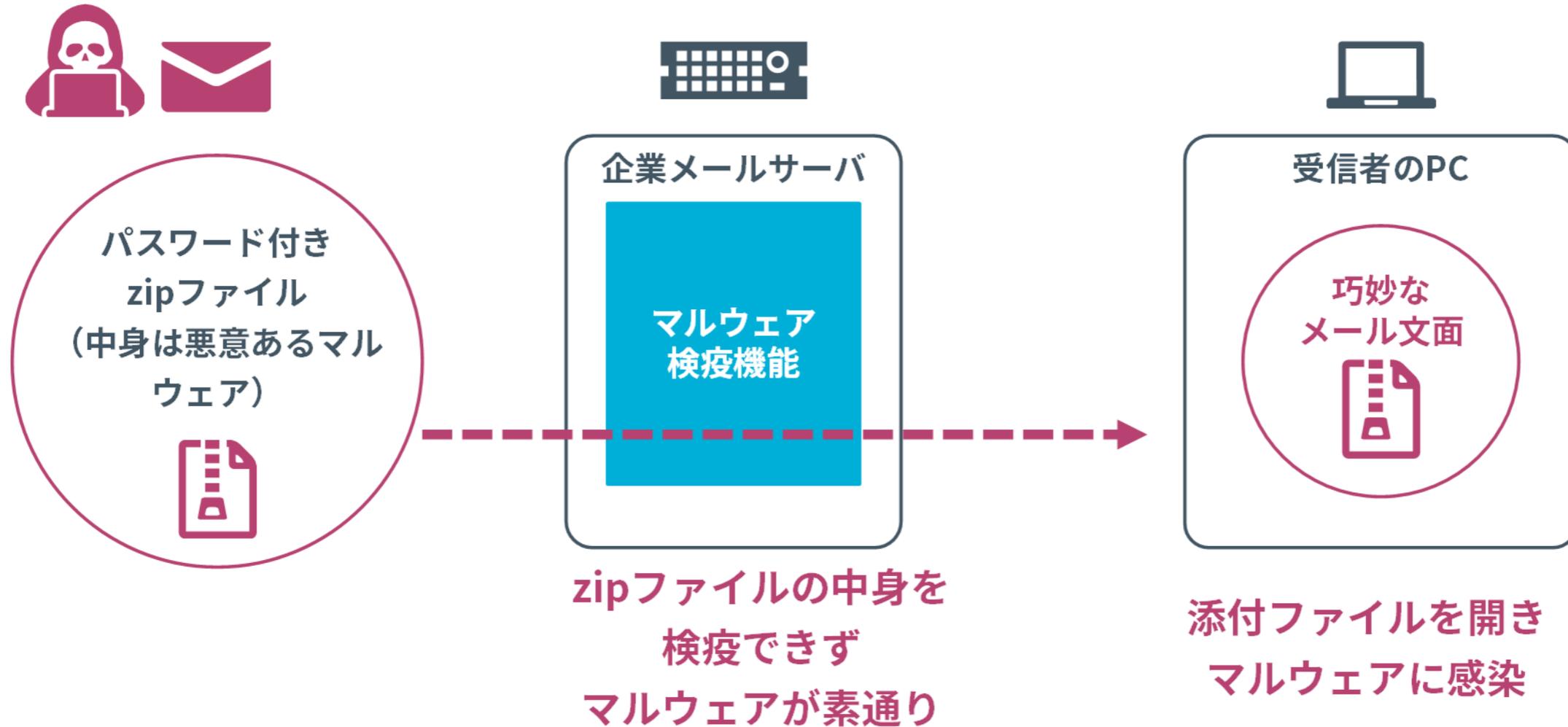
プライバシーマークを運営するJIPDECは  
脱PPAPに関する政府会見のあと、従来からPPAPは  
推奨していないことをお知らせに掲載※

※出典: JIPDEC (一般社団法人日本情報経済社会推進協会), メール添付のファイル送信について (2020/11/18公開), <https://privacymark.jp/news/system/2020/1118.html>



②  
PPAPはなぜ  
大きな問題  
になったのか

## E. マルウェア対策への弊害 検出回避にパスワード付きzipを利用した攻撃が登場



Zipファイルを辞めることがPPAP?

手段が目的になってしまう。PPAPの目的、期待していた効果とは

A  
メール盗聴対策？

B  
誤送信対策？

C  
アクセス制御？

D  
ガイドライン準拠？

E  
マルウェア対策？

【目的】

“

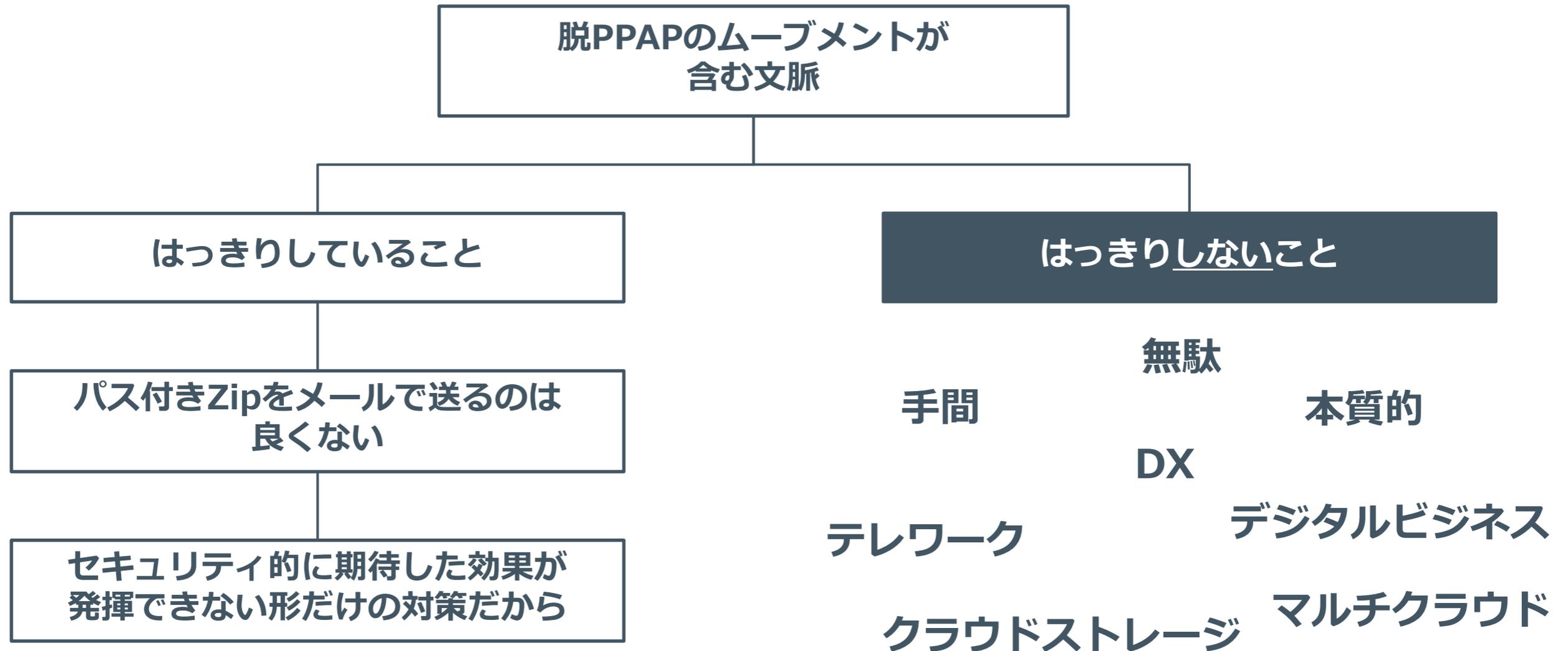
”

# 自社にとって ベストなPPAP対策の方針を決める

課題③

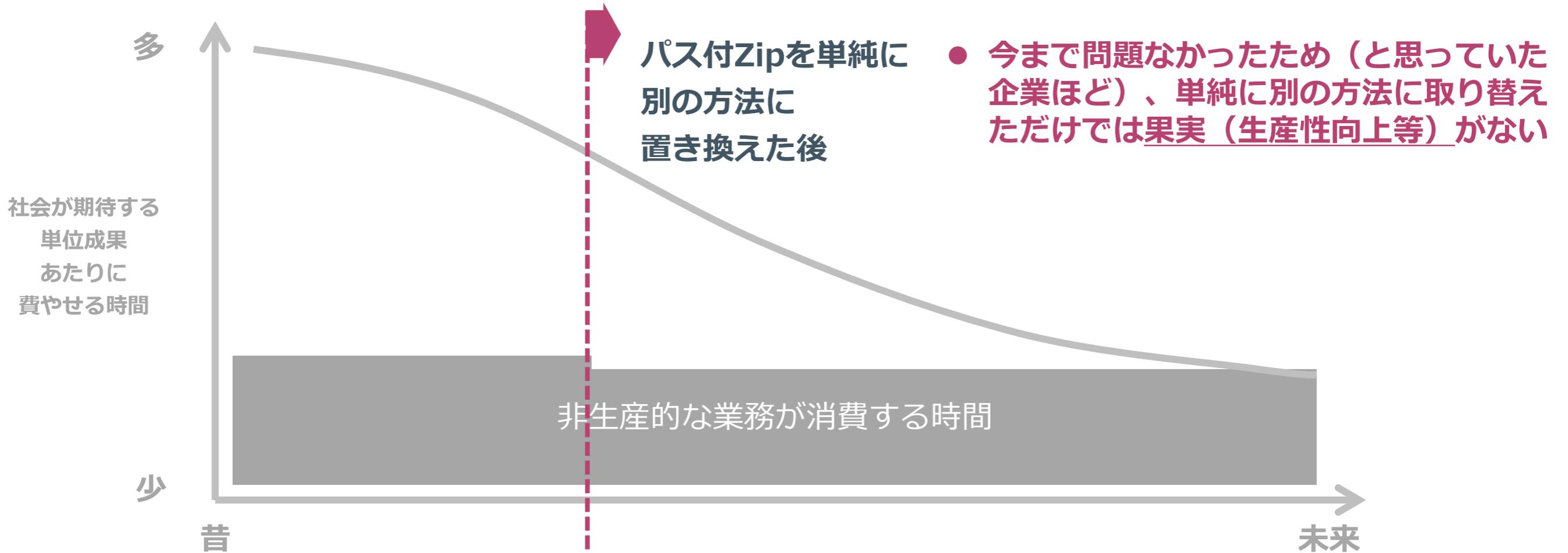
他社がPPAP対策に期待を寄せている効果が  
まだある気がする

# 他社がPPAP対策に期待を寄せている効果がまだある気がする 脱PPAP論に含まれる期待と効果とは



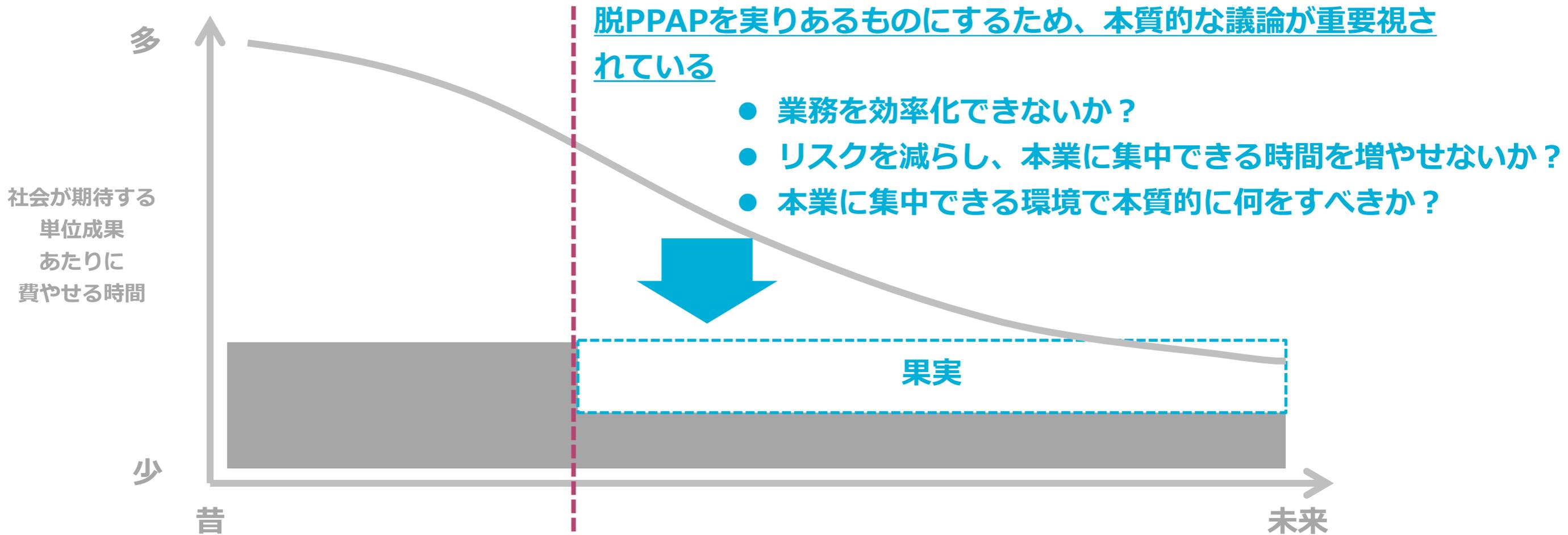
# 他社がPPAP対策に期待を寄せている効果がまだある気がする 脱PPAP論に含まれる期待と効果とは

社会が期待する、単位成果あたりに費やせる時間

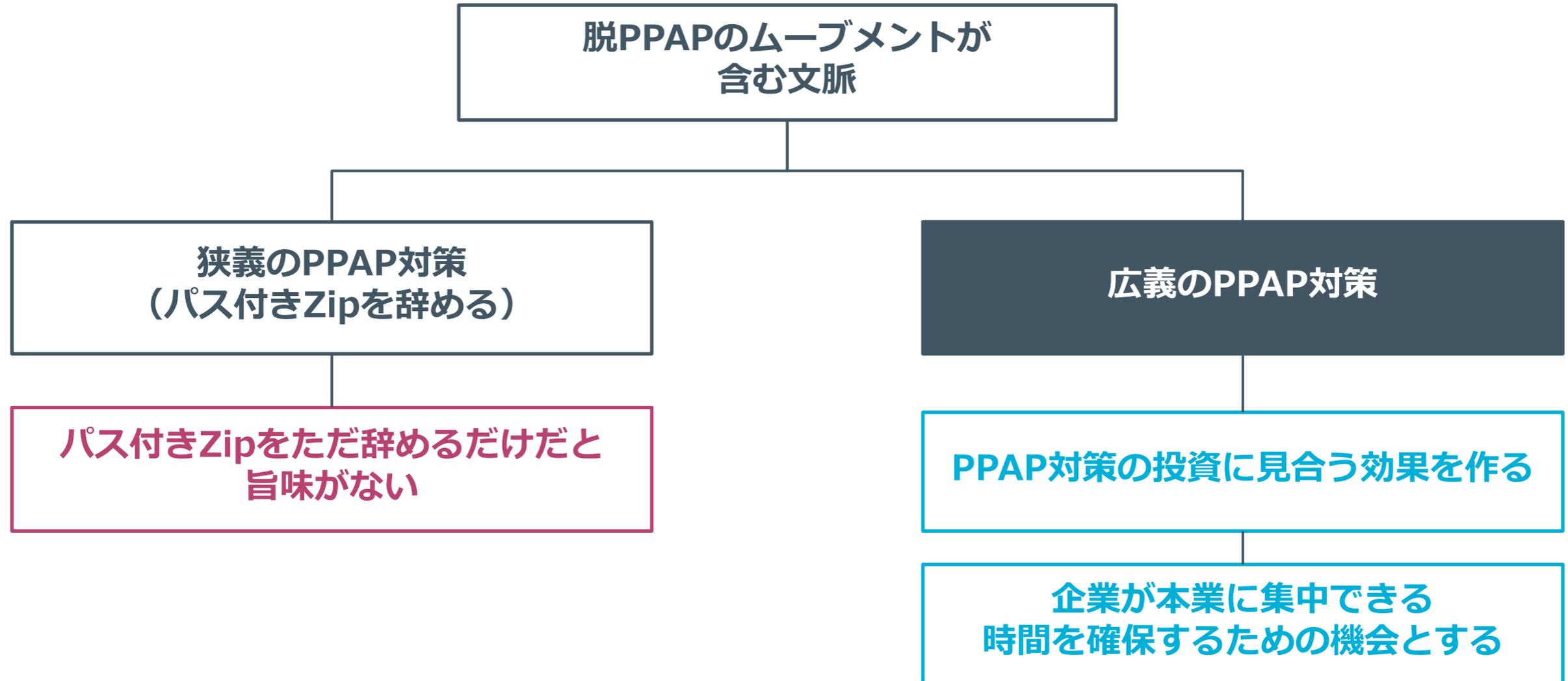


# 他社がPPAP対策に期待を寄せている効果がまだある気がする 脱PPAP論に含まれる期待と効果とは

社会が期待する、単位成果あたりに費やせる時間



# 他社がPPAP対策に期待を寄せている効果がまだある気がする 脱PPAPを企業が本業に集中できる時間を確保する機会と捉えている



【目的】

“

自社にとって  
ベストなAPPP対策の方針を決める

”

課題④

PPAP対策の投資に見合う効果をどう作るか

## 課題④

# PPAP対策の投資に見合う効果をどう作るか

企業様ごとに状況が異なり  
無条件でベストな方法のおすすめが難しいですが・・・

PPAP対策に成功した企業 =  
PPAP対策を決めたお客様がどんな効果を望んだか

大きく 3 方向の効果別にご紹介

「セキュリティ」 「業務影響」 「コラボレーション」

PPAP対策を決めたお客様が  
どんな効果を望んだか

# PPAP対策に成功した企業 = PPAP対策を決めたお客様がどんな効果を望んだか

## 大きく 3 方向の効果別にご紹介

「高いセキュリティ」

「少ない業務影響」

「コラボレーション」

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「高いセキュリティ」の場合

## 「高いセキュリティ」を望んだのはどんなお客様？

- PPAP対策に本来期待していた情報漏えい対策を優先
- 扱うファイルの機密度が高い（個人情報、マイナンバー、営業機密）
- 待ったなしに対策が必要な箇所に絞って部分導入を急ぎたい

①  
メール以外の経路で  
ファイルを配送したい

②  
パスワード配送問題を  
なんとかしたい

③  
誤送信を  
なんとかしたい

④  
意図しない情報漏洩を  
防ぎたい

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「高いセキュリティ」の場合

①

## メール以外の経路でファイルを配送したい

- 検討のポイント
  - エンドツーエンドで暗号化を保証（HTTPS）
  - クラウド上ではAES暗号化して保存
- Boxとその他クラウドサービスとの比較
  - 多くがこの要件を満たすため別の軸で比較が必要

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「高いセキュリティ」の場合

②

## パスワード配送問題をなんとかしたい

- 検討のポイント
  - パスワードの配送を不要にできるか？
    - パスワードは受信者のみに閲覧・利用を制限するための本人確認の仕組み
    - 安全性と効率を考えれば、受信者がパスワード設定できる仕組みが望ましい
- Boxとその他クラウドサービスとの比較
  - Boxの場合
    - **アカウント招待（コラボレーション）であればPW配送は不要**
    - **オープンリンク（アカウント不要でアクセスできる共有リンク）+パスワードの場合、パスワード配送問題は回避できない**
  - 他社サービスの例
    - **アカウント不要だが、パスワードのみ受取人が生成・管理できる機能を具備したサービスがある**

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「高いセキュリティ」の場合

## ③ 誤送信をなんとかしたい

### ● 検討のポイント

- 操作ミスが起きる前提で考え、被害の影響を絞り込む工夫があるか
  - **フールプルーフ（ミスがおきえない作り込み）**：ドアが完全に閉じないと起動しない電子レンジ
    - クラウドサービスに不要な権限をユーザに持たせない機能があるかなど
  - **フェールセーフ（ミスしても安全を守る）**：電源が消失したら閉まる踏切
    - ファイルがダウンロードされたか確認できる機能 + 送信取り消し機能など
    - 共有前の第三者承認（人間DLP）

### ● 製品比較で検討

- **Boxの場合：**
  - **フールプルーフ**：フォルダ設定で自由度を調節し、7種のロールによりユーザ権限を調節可能
  - **フェールセーフ**：
    - **権限があれば、たとえ誤ったファイルであっても外部共有可能だが、BoxShieldの分類ラベルを使ったコンテンツベースのアクセス管理によって誤共有を防止可能**
    - またBoxRelay機能やワークフローサービスとの連携等によって承認機能を作成できるが、実用的かどうかは検証要

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「高いセキュリティ」の場合

④

## 意図しない情報漏洩を防ぎたい

### ● 検討のポイント

- 製品の設計思想によってはファイルが外に出ていきやすい（共有のしやすさにUI/UXがフォーカス）
- UIや自由度の高い機能が多いほど、操作ミスや設定ミス（ミスコンフィギュレーション）が発生する

### ● 製品比較で検討

#### ● Boxの場合：

- **クラウドにファイルを蓄積することで効率化と統制を生むような設計で機能が用意されている**

- 社外共有に便利な機能も、見方を変えれば情報持ち出しに便利な機能になってしまう
- 設定や利用方法についてセキュリティの観点から専門家のアドバイスを受けるのがのぞましい

#### ● 他社サービスの例：

- **ファイル転送サービスなどは、クラウドにファイルが残ることをリスクとした設計で機能が用意されている**  
（送受信以外の機能が少ない、最長25日経つとファイル削除など）
- Boxは社内共有と割り切り、社外共有にはファイル転送系サービスを併用することも検討

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「少ない業務影響」の場合

## 「少ない業務影響」を望んだのはどんなお客様？

- 全社導入を考えており、従業員のリテラシーを考え現場への摩擦を最小限にしたい
- 普段使っているメーカーにファイルを添付する操作はかえたくない
- 既存のメールフィルタリング製品の資産を活用したい

①  
ブラウザを使う必要がないか？

②  
メーカー製品（Outlook等）と  
連携できるか

③  
メールサーバ(M365,Gmail)と  
連携できるか

④  
メールフィルタリング  
ソフト(m-FILTER等)と  
連携できるか

●デジタルアーツ、m-FILTER、m-FILTER@Cloudの各種名称はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

●「Box」の導入効果を最大化する手法とは ～費用対効果の高いデータ一元集約・共有の実現方法を解説～ NRIセキュアテクノロジーズ 土屋 亨  
●本資料の無断での引用・転載を禁じます

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「少ない業務影響」の場合

## ① ブラウザを使う必要がないか？

- **Box単体だとブラウザ利用は避けられない**

## ② メーカー製品（Outlook等）と 連携できるか

- BoxにはOutlookとの統合ツールはあるが、**Boxサービスを意識した使い方が求められる**

## PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「少ない業務影響」の場合

③  
メールサーバ(M365,Gmail)と  
連携できるか

または

④  
メールフィルタリングソフトと  
連携できるか

- Boxは3rdPartyサービスの「**mxHero**」を組み合わせればBoxの利用を意識することなくM365やGmailと連携し、**メールに添付する操作はそのままに添付ファイルのみBoxの共有リンク経由で送付可能**
  - 細かく見れば、共有リンクのパスワードは送信側で生成するためパスワード配送問題は残る

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「コラボレーション」の場合

## 「コラボレーション」を望んだのはどんなお客様？

- ファイルを介した企業内・企業間コミュニケーション効率の見直しをしたい
- 複数の業務クラウド上の分散ファイル保存の非効率さ、セキュリティリスクを回避したい
- Boxに可能性を感じており、Boxありきで新しい働き方、ビジネスの可能性を見つけない

### <積極的なお客様>

Boxの自由度に魅力があるけど  
豊富な機能やポテンシャルを  
自社が活用しきれないか不安



### <慎重なお客様>

Boxの自由度には抵抗があるけど  
ファイル共有は使いたい

# PPAP対策を決めたお客様が望んだ効果 とくに「コラボレーション」の場合

## <積極的なお客様>

Boxの自由度に魅力があるけど  
豊富な機能やポテンシャルを  
自社が活用しきれないか不安



ユースケース検討やPoCのご支援などを通じて  
Boxのご提案・セキュアな導入をご支援

### ▶主なBox導入支援実績

大手情報通信業様 全社導入（1,500ライセンス規模）

大手学習塾様 全社導入（1,500ライセンス規模）

↳★Netskopeも同時導入

大手化粧品会社様 全社導入（1,200ライセンス規模）

## <慎重なお客様>

Boxの自由度には抵抗があるけど  
ファイル共有は使いたい

社外共有にはファイル転送系サービスの併用  
をご提案

### 社内共有



同左

### 社外共有



不要なファイルがクラウド上に残り  
続けられないための工夫が詰まった  
ファイル転送・共有サービス

# Box導入事例 | 株式会社ミルボン様

[https://www.nri-secure.co.jp/service/case/box\\_milbon](https://www.nri-secure.co.jp/service/case/box_milbon)



散在するデータの一元化で、お客様のための社内コラボレーションを加速

株式会社ミルボン



ヘア化粧品メーカーのミルボンでは、営業活動や製品開発に関する多種多様なデータがファイルサーバのほか SharePoint Online、個人のPCなどに散在し、利活用しにくい状況でした。増え続けるそれらの情報を一元管理し、かつガバナンスを効かせるために採用したのが「Box」です。

同社の情報企画部長の畠中健二氏、情報企画部ITインフラ室マネジャーの岡崎鉄夫氏、同部IT企画推進室マネジャーの佐藤賢太郎氏に、「Box」導入に至る背景や現在までの取り組みなどをうかがいました。

# Box導入事例 | 株式会社ミルボン様

[https://www.nri-secure.co.jp/service/case/box\\_fpg](https://www.nri-secure.co.jp/service/case/box_fpg)



NRIセキュアによるセキュリティ運用のアドバイスをベースに、他SaaSとの連携が柔軟に行える「Box」を導入

株式会社FPG



金融機関は、金融庁やFISCが定める指針等により高度なセキュリティ水準が要求されます。「金融で未来を拓く」を掲げ、多くの金融商品やサービスを提供する株式会社FPGでは、オンプレミスのファイルサーバの老朽化に伴う更改を検討する際に、金融業界特有のセキュリティ基準を満たす企業向けのクラウド型コンテンツ管理基盤「Box」への移行を選択。外部の営業支援ツールとの連動も視野に入れ、業務改善に取り組んでいます。



セキュリティを重視したファイル交換専用ツール  
**クリプト便 ファイル共有オプション**

# ファイル共有の画面構成

シンプルでわかりやすい画面構成、どなたでも簡単にご利用いただけます。

The screenshot shows the 'クリプト便' (Cryptobin) file sharing interface. The main area displays a list of shared files under the '共有ファイル' (Shared Files) section. The interface is annotated with several callouts:

- 送信・共有の切替** (Switch between Send and Share): Points to the toggle buttons at the top.
- 共有ファイルの表示** (Display shared files): Points to the file list table.
- 一括ダウンロード** (Bulk Download): Points to the download icon above the file list.
- グループの切替** (Switch groups): Points to the group selection menu on the left.
- ボックス一覧表示** (List boxes): Points to the group selection menu.
- ボックス選択時** (When selecting a box): Points to the right-hand sidebar, indicating that box information and sharing preferences are shown.
- ファイル選択時** (When selecting a file): Points to the file list, indicating that file information is shown.

Additional callouts include:

- 一括ダウンロード** (Bulk Download): A callout box pointing to the download icon.
- ボックス選択時** (When selecting a box): A callout box pointing to the right-hand sidebar, containing the text: 'ボックス情報 →ボックス情報、公開先の表示' and 'ファイル選択時 →ファイル情報の表示'.

At the bottom left, there are two bullet points:

- ボックス=ファイル置き場
- ボックス毎に共有相手を管理可能

## クリプト便のファイル共有 特長を例えるなら「ミニマリストの住む部屋」

- ／ クリプト便のファイル共有は、あくまで共有が必要なファイルを、共有が必要な期間保管する部屋であって、オンラインストレージのような大量のアーカイブ（貯蔵）を想定していません
- ／ 例えるなら、**必要なものしか置かれていないミニマリストの住む部屋**であり、保存された情報資産全体への管理の目が行き届きやすく、**万が一の事故や盗難があったとしても被害を抑え込める環境**です
- ／ クリプト便のファイル共有は、**不必要なファイルや権限がクラウドサービス上に自然と残り続けないようにするためにさまざまな仕掛け（機能）を用意しています**



# クリプト便ファイル共有の特長 ミニマリストなファイル管理

## 3つの仕掛けで、不要なファイルがクラウド上に残り続けることを防ぎます

### 仕掛け1 サブフォルダの作成を 禁止する仕掛け

- ユーザーが現実的に管理可能なファイル規模にとどめ、管理の目が届く仕掛け

### 仕掛け2 個人のストレージ領域なし

- 共有が必要ないファイルをクラウド上にアップロードさせない

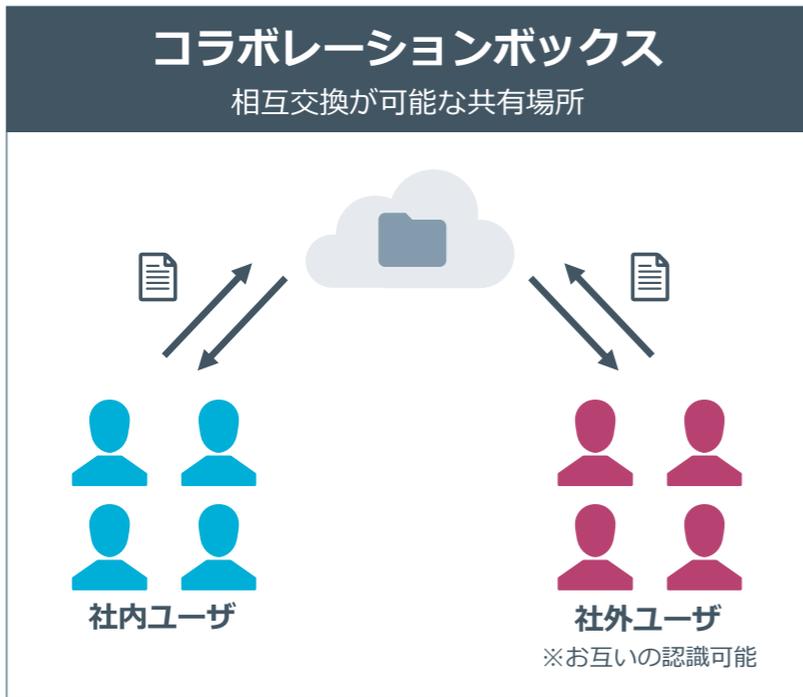
### 仕掛け3 ファイル棚卸支援

- クラウド上のファイルの新陳代謝を促し、真に共有が必要なものだけが存在する仕掛け
- 指定された日数の間、誰にもダウンロード・編集されていないファイルを自動的にごみ箱に移動。
- 定期的にファイルの整理を促すことで、古いファイルの放置を防ぎ、リスクの低減や整理整頓に役立つ仕掛け

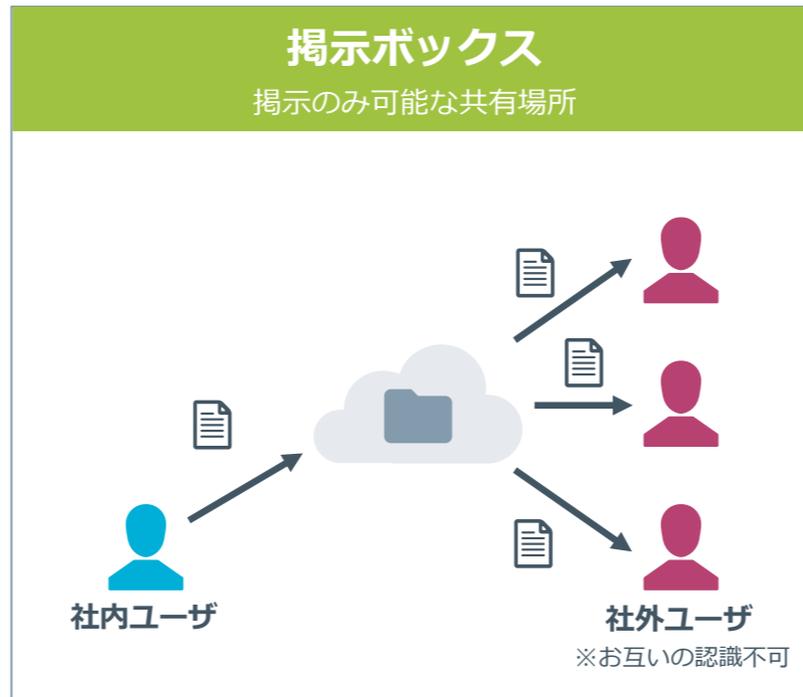
## クリプト便ファイル共有の特長 ② 権限を規定した3種の共有フォルダ

だれがどんな権限で利用できるか共有フォルダの権限パターンを3種に規定しました

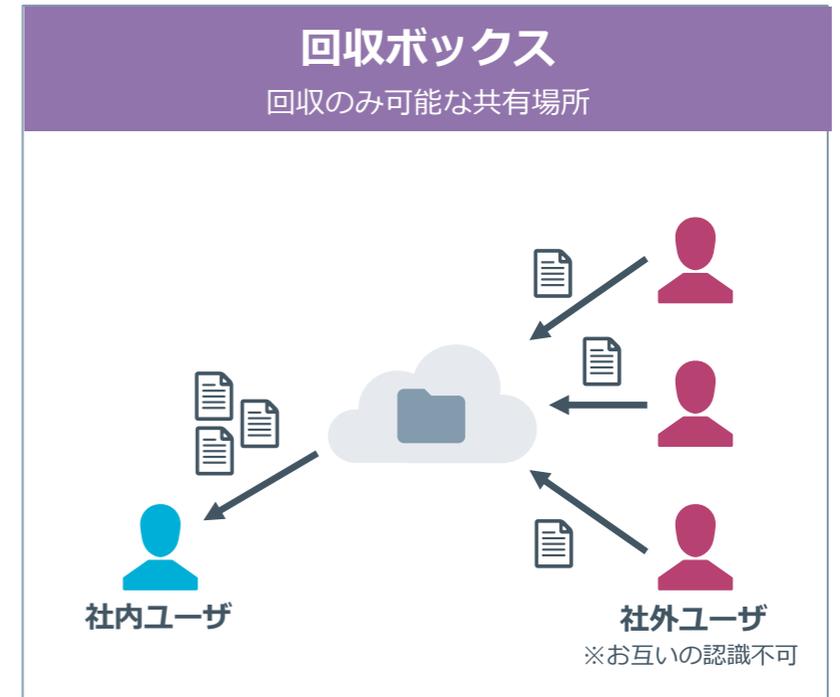
- 共有フォルダ種別（ボックス）によってユーザの権限を3種類に規定します
- ボックスが決まれば管理者の意図に反してファイルの共有範囲が変わることがないため、権限付与の状況を勘違いしにくくなります



- 全員がボックスに所属するユーザをお互いに認識し合いながら、ファイルのアップロード・ダウンロードを行うことができます。
- お互いにファイル授受が発生するプロジェクトなどで利用されます。



- 社外ユーザは、社内ユーザが格納したファイルのダウンロードのみ可能です。社外ユーザ同士はお互いを認識できません。
- 相手からファイルを受け取る必要がない、会員や会議出席者への資料配布などで利用されます。

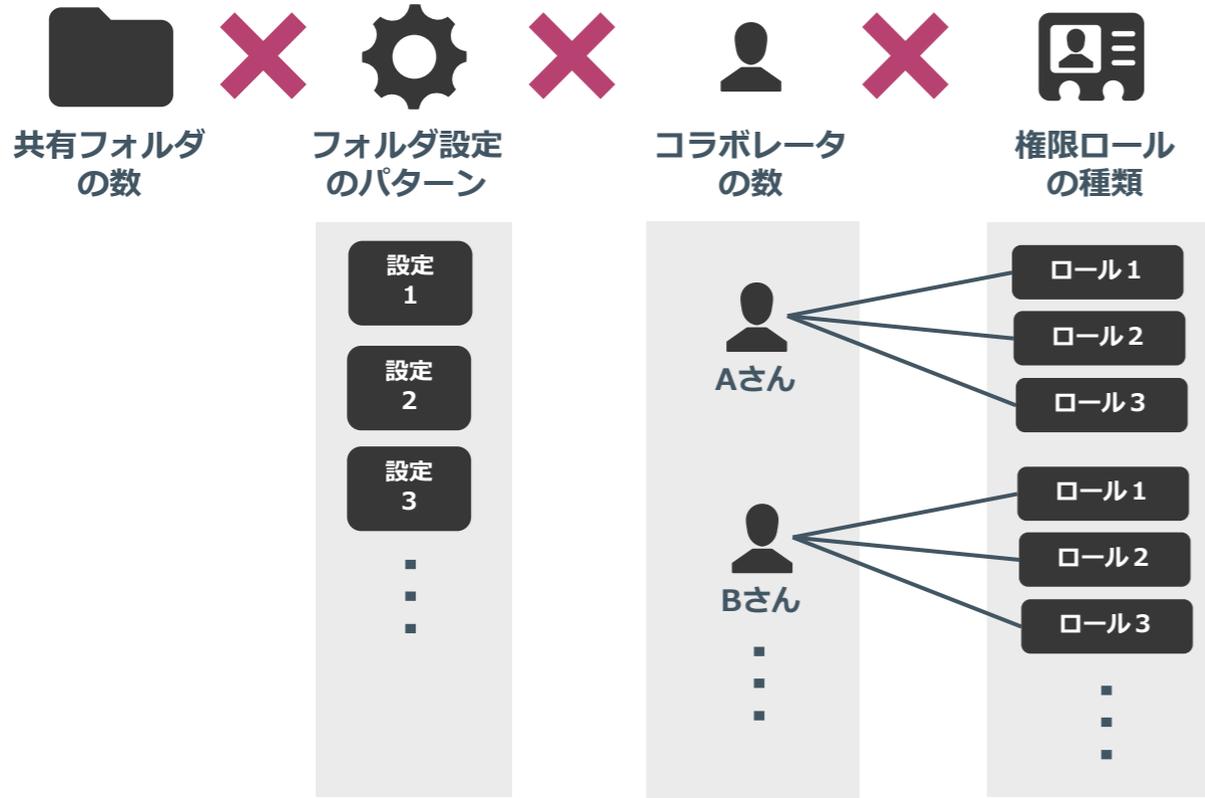


- 社外ユーザは、社内ユーザに共有したいファイルのアップロードのみ可能です。社外ユーザ同士はお互いを認識できません。
- 相手にファイルを渡す必要がない、提出物の回収などで利用されます。

## クリプト便ファイル共有の特長 ②権限を規定した3種の共有フォルダ

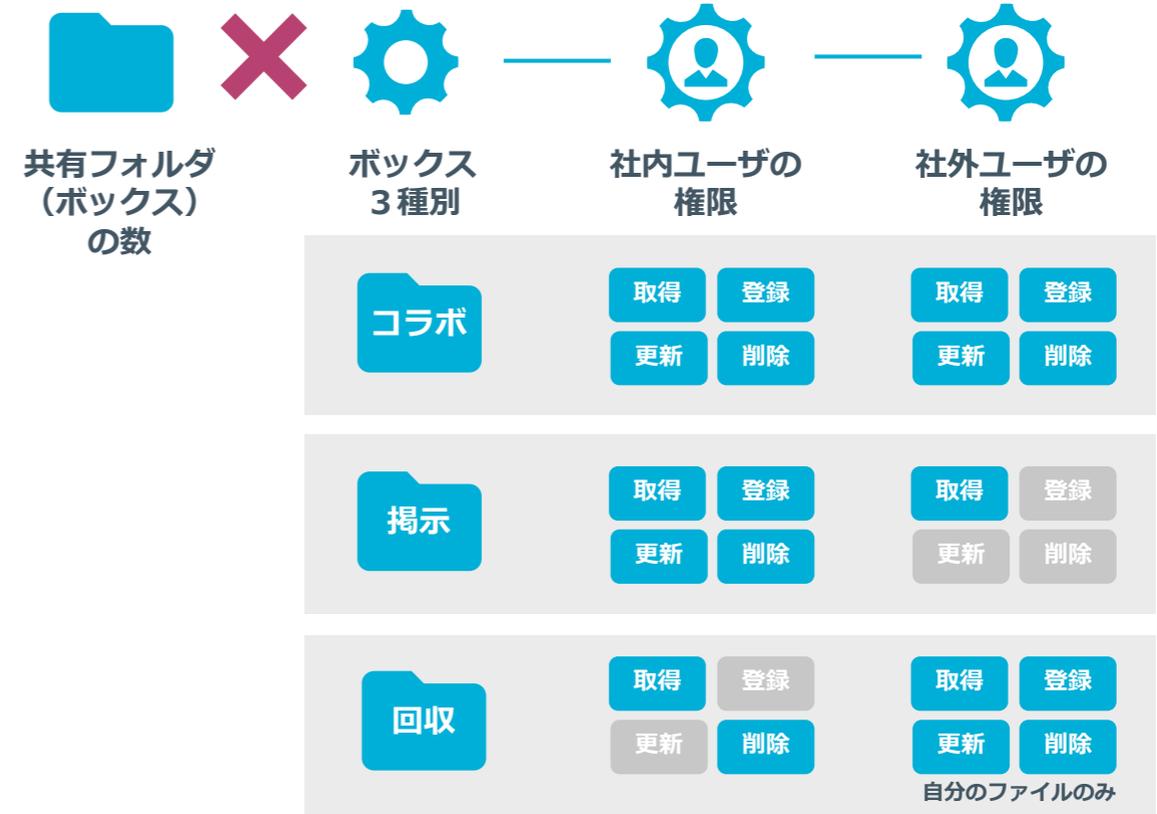
権限パターンが限定され特殊な権限が存在せず、共有フォルダの種別によって起こりうるリスクがはっきりするため、管理者による権限管理の見通しが立ちやすくなります

### 一般的な共有フォルダの設定自由度



- ✓ **設定の自由度が高く把握すべき権限のパターンは膨大**  
どのフォルダをどんな目的・共有設定で作るかを予め体系立てて設計し、秩序ある運営を維持しなければ管理が複雑化する

### クリプト便の共有フォルダの設定自由度



- ✓ **権限の組み合わせはボックス別に3パターンのみ**
- ✓ **情報漏洩につながるコラボ、掲示ボックスは監査レベルを高くするなどメリハリをつけやすい**

# 「Box」の導入効果を最大化する手法とは

～費用対効果の高いデータ一元集約・共有の実現方法を解説～

## セッション2

2023年12月21日

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

ファイルセキュリティ事業部

土屋 亨

# 待ったなしのセキュリティ対策

# Boxを使ったPPAP対策

- セキュリティに絞った狭義の**PPAP対策**（メールでZipファイルとパスワードを送付）としては**Boxで充足可能**
- PPAP対策におけるBox導入の**真の課題はPPAP対策以外**である場合が多い（前例のない取り組みへの強い動機づくり）

Zipファイルのメール添付脱却

本人確認（パスワード認証等）  
手段の用意

パスワード配送の手間削減

メール経路の  
セキュリティリスク（SMTP）低減

メール添付からの業務変化  
の摩擦低減

誤送信対策

ガイドラインへの準拠

- Boxへのアップロード&ダウンロード
- ID指定で受信者をコラボレーションし、Boxにログイン
- ログイン不要の共有リンク（オープンリンク）をパスワード付きで発行する
- コラボレーションにより都度パスワードの生成・配送不要
- HTTPS通信（TLS1.2）による経路の暗号化
- MxHeroなどのメーカー連携ツールを利用し、送信側のオペレーション変化を低減可能
- 7種類の権限ロール管理等で権限を最小化
- Shieldオプション（有償）のスマートアクセス機能でファイル自体にセキュリティポリシーを適用・越権行為を水際阻止
- ISMAP（日本政府によるセキュリティ評価）、PCIDSS（クレジットカード業界ガイドライン）、FISC安全対策基準（金融庁ガイドライン）等をクリア

# Boxを使ったランサムウェア対策／ノーウェアランサム

- **ランサムウェア**ではBoxのWebUI操作の実行難易度が高く、仮に**暗号化されても過去バージョンに復旧可能**
- そのためにも、**オンプレFSやPC端末に原本を残さずBox上にコンテンツを集約する = 純粋なBox活用**がそのままランサムウェア対策になる
- **ノーウェアランサム**（データの窃取のみを行いそのデータの公開と引き換えに対価の支払いを要求する）への脅威には**認証強度の向上（IPアドレス制御、端末認証、二段階認証等）**で対抗。さらに**Shieldオプション「脅威検出機能」**があれば**不審なアクセス**や**異常なダウンロード**を検知し対抗

# クラウドストレージでのランサムウェア対策

バージョン管理機能による復旧（50世代または100世代）

Governanceオプションなら無制限にバージョン管理可能

感染・不正暗号化される前のバージョンにファイルに戻すことで復旧



08. Excelサンプルファイル.x...	V3	20194
09. 見積書.gsheet	V4	20174
10. 役員会資料.do...	V159	20214

バージョン履歴

月曜日

**v159** 現在のバージョン  
アップロード: Box Admin  
7月12日 17:47 • 17.57 KB

6月

**v158** アップロード: Box Admin  
7月12日 10:11 • 17.71 KB

- プレビュー
- ダウンロード
- 現在のバージョンとして設定
- 削除

一つ前のバージョンを現在のバージョンとして設定

バージョン履歴

今日

**v160** 現在のバージョン  
昇格: Box Adminのv158  
3分前 • 17.71 KB

月曜日

**v159** アップロード: Box Admin  
7月12日 17:47 • 17.57 KB

6月

**v158** アップロード: Box Admin  
6月2日 10:11 • 17.71 KB

一世代前のファイルが最新のバージョンに昇格

## クラウドストレージでのランサムウェア対策(1)

### 1. マルウェア・ランサムウェアの検知

ダッシュボード 検出ルール

検出するルールの種類を選択

アカウントのイベントおよびアクティビティをセキュリティを実現します。 [詳細を表示](#)

**NEW**

**悪意のあるコンテンツ**

内部または外部ユーザーがアップロードしたファイルを分析して、潜在的なマルウェアを特定します。このルールは、悪意のあるコンテンツを検出し、ダウンロードを制限することで、そのようなファイルの拡散を防止します。

**NEW**

**悪意のあるコンテンツ**

内部または外部ユーザーがアップロードしたファイルを分析して、潜在的なマルウェアを特定します。このルールは、悪意のあるコンテンツを検出し、ダウンロードを制限することで、そのようなファイルの拡散を防止します。

**異常なダウンロード**

会社のコンテンツを不正使用している可能性がある管理対象ユーザーの不審なダウンロード行動を追跡するのに役立ちます。Shieldは、ユーザーのダウンロード行動に(特に同僚と比較して)変化があったことを示すアラートを生成します。

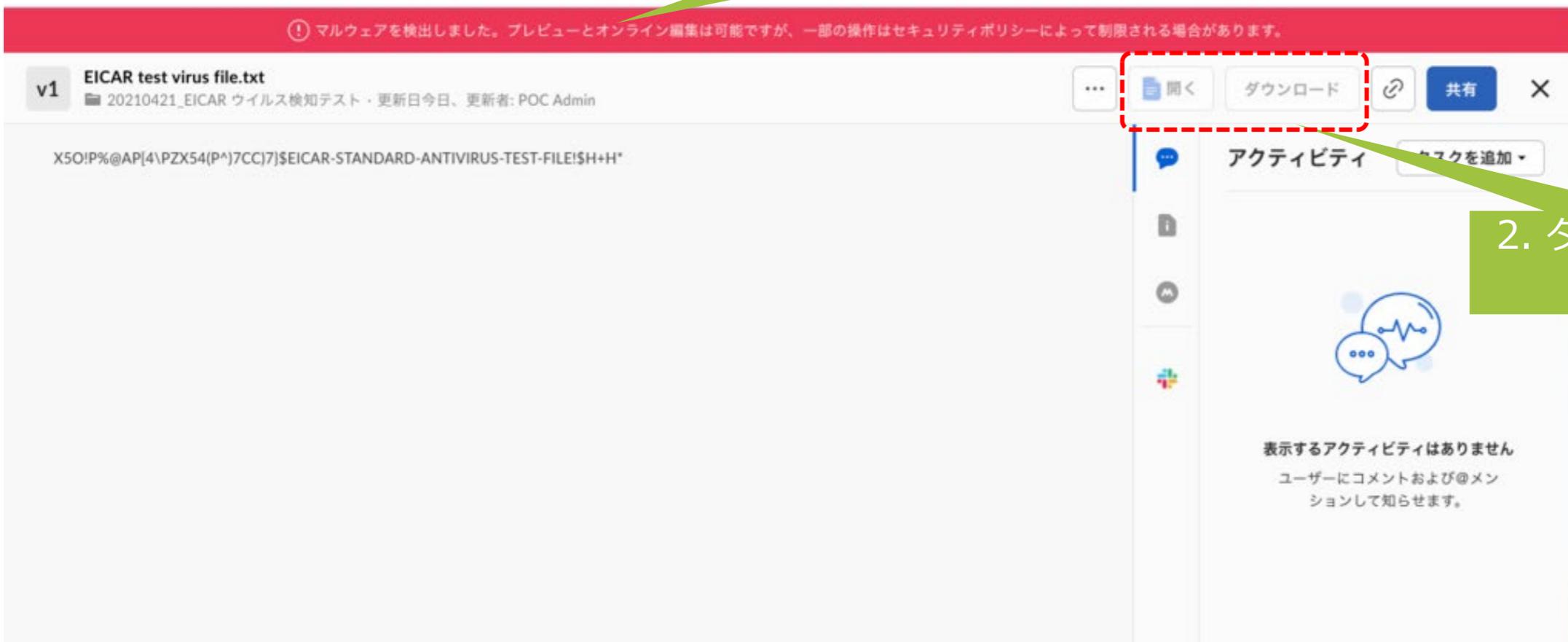
- **悪意のあるコンテンツ**: 悪意あるコンテンツを検出して、ダウンロードや共有を制限することでファイルの拡散を防止する機能

# クラウドストレージでのランサムウェア対策(2)

## 2. 二次被害/拡散の防止

1. マルウェア検知表示

ユーザーに対して、このファイルがマルウェアであることを明示

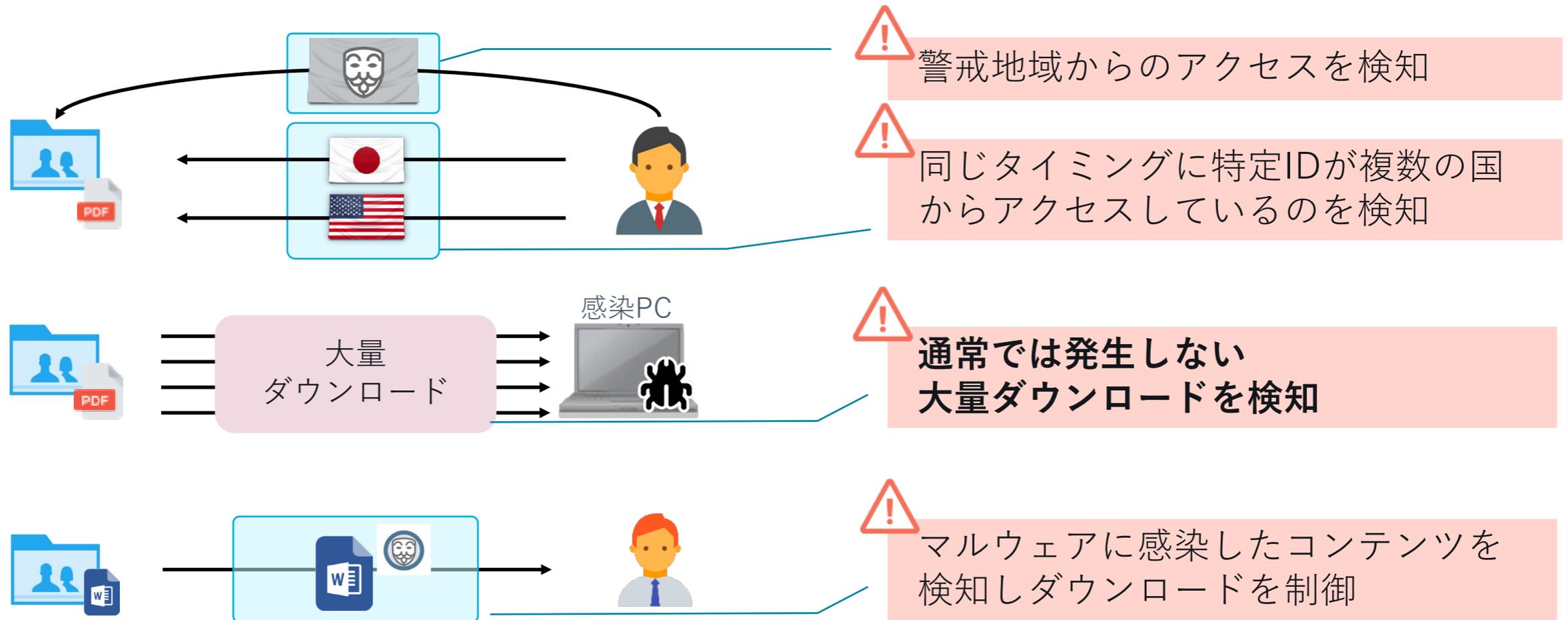


2. ダウンロードと共有  
抑止制御

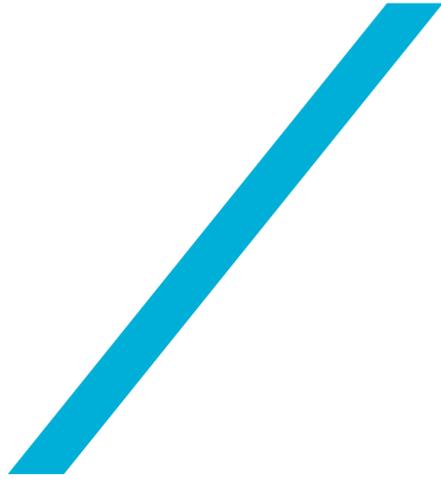
ダウンロード、ローカル編集、ファイルコピーなどを自動的に制限することでファイルの拡散を防止

## クラウドストレージでのランサムウェア対策(3)

### 3. ファイル窃取の自動検知



# Boxを導入する心構え



## Boxへの構え方

Boxへの構え方

**コストはかかるし変化は生じる。それが果実を得るための前向きな建付けとできるか**

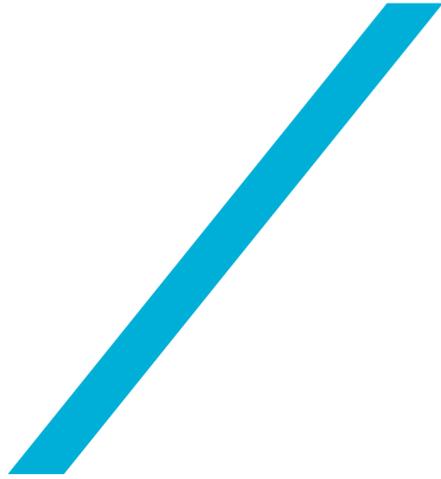
- 単位成果あたりに消費できる時間がどんどん少なくなる社会において、企業が高い生産性をあげられる体質に変化するためのテコ（レバレッジ）がBox
- コンテンツをBox一箇所に集め、管理するという、これまでになかったコンテンツ管理方法への“背伸び”“筋トレ”を導入初期から迫ることになる
- 使い勝手や業務が変わることで発生する様々な摩擦をいわば必要経費として位置づけられるか、Boxをテコに業務を変えていく意思を形成できるかが肝要

**PAPP対策に直接のコストメリットを見出す検討に終始せず**

**Box導入が報われるに足る果実——コスト削減、生産性向上、新業務の実施等を織り込んで検討し**

**自社のありたい姿を実現するために必要なプロセスとして**

**前向きな社内ムーブメントに建付けていくことが必要**



# フォルダ管理体系変化のハードル

## クラウドベースのコンテンツ管理切り替えに必要な体質変更

### ／ フォルダのアクセス権限はウォーターフォール型。Windowsサーバに見られる権限管理方法と違いがある

- ／ Boxはセキュリティ（フォルダ権限の見通しのつきやすさ）を優先し、上位のフォルダで設定したセキュリティ制限が下位フォルダに継承する。故に下位フォルダで特殊な権限の緩みなどを作り込めない
- ／ 結果、サブフォルダにおいて、親フォルダよりも閲覧ユーザを減らすことができない等あるが、フォルダ構成や権限棚卸しのきっかけに

### ／ グループは作れるがグループの階層構造を構成できない

- ／ Hakonnect（マクニカ社）などのプロビジョニングツールによって移行をスムーズに

### ／ 外部ファイル参照を含むマクロやExcelファイルを利用し辛い？

- ／ BoxDrive（“エクスプローラー”へのマウントツール）の設定の工夫で対応可能

参考：<https://support.box.com/hc/ja/articles/360043697454-Box-Driveフォルダのデフォルトの場所の設定>

# ご参考：ブラウザ/デスクトップ問わずOfficeの共同編集機能が可能です

別途Box社への申請や必要な設定がございます。ご契約の際にベンダーまでご相談下さい

## 概要

### Box for Microsoft Office共同編集機能



Office 365のExcel、Word、PowerPointアプリをサポート



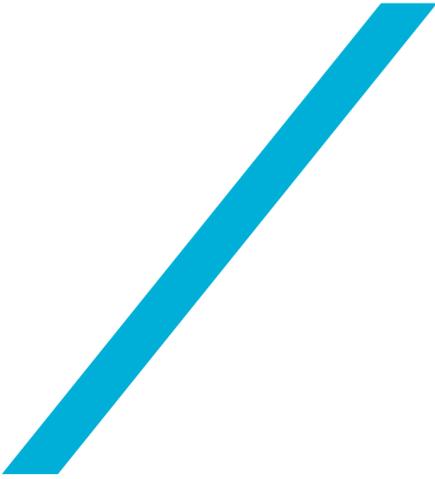
Box Drive、Boxウェブアプリ、OfficeアプリのオンラインストレージのいずれからOfficeファイルを開いても動作



デスクトップおよび  
オンラインの  
Officeアプリと連携



WindowsとMacで動作、  
iOSとAndroidもサポート予定



# データ移行のハードル

# Box公式の移行ツール&サービスの利用で解決 (Box Shuttle)

## Box Shuttleとは？

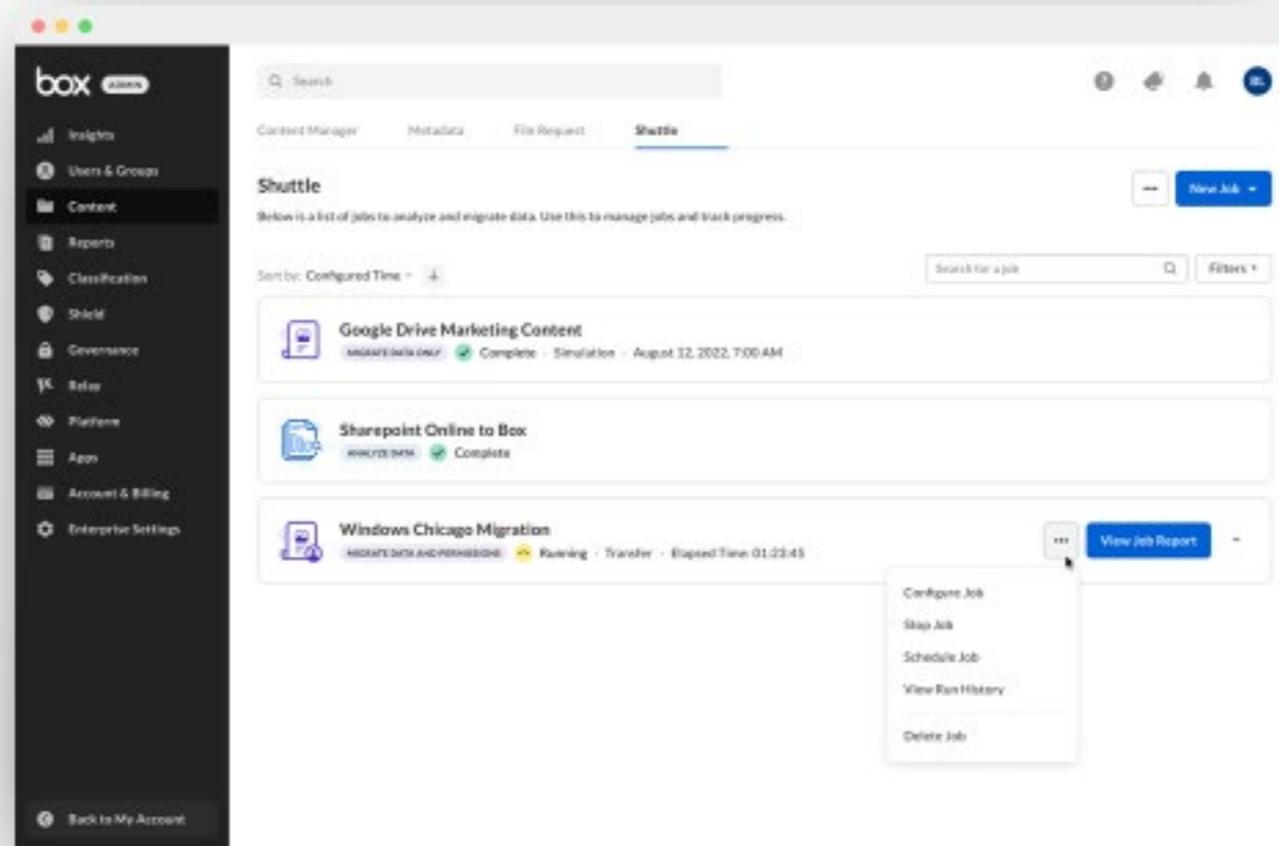
PB級のデータ移行が可能なデータ移行テクノロジーが、管理コンソールから利用可能に



### Box Shuttle

Box Consultingが数々の大規模データ移行で利用してきた移行ツール

直感的な操作が可能なUIを備え、管理コンソールから利用可能に



# Box Shuttleの特徴的な機能

Boxへのデータ移行に求められる機能が網羅され、その全ての機能を直感的に操作可能。

## フォルダマッピング機能

コンテンツマネージャ    メタデータ    ファイルリクエスト    Shuttle

ホーム > ソースシステム > データのマッピング    終了    戻る    次へ

Dropbox - large files  
データのみ移行 · Dropbox · 未開始

ターゲットのアカウントとフォルダにソースフォル...    ソースを検索

ソース	ターゲット
DBuser 1 fujita.masaya+dbuser1@gmail.com	
Masaya Fujita fujita.masaya+dropbox@gmail.com	
Migration Source Folder	藤田... mfujita+... ...rce Folder
Large Files	藤田... mfujita+... ...Large Files
Small Files	藤田... mfujita+... ...Small Files
Team Share1	

マッピング

## シミュレーション機能

コンテンツマネージャ    メタデータ    ファイルリクエスト    Shuttle

ジョブパフォーマンスの推定

期間 ⓘ  
17m 31s

ボトルネック ⓘ  
ファイルの読み取り速度: 10 fps

詳細

合計サイズ 5.3 GB	合計フォルダ数 6
合計ファイル数 10,512	開始日 2023年6月7日 12:56
新しいサイズ 5.3 GB	新しいフォルダ 6
経過時間 47s	Success 10,518

## レポートとエラー分析機能

検索

コンテンツマネージャ    メタデータ    ファイルリクエスト    Shuttle

ホーム > ... > 実行前の検証 > ジョブレポート

Dropbox Migration  
データのみ移行 · Dropbox · 13個のエラー

統計情報    レポート    ファイルシステム    エクスポート

13項目中1 - 13 (フィルタリング済み)

ソース ↓	サイ...	ターゲ...	ス...	転送開...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...
/Migration Sour...	1 kB	mfujita...	書...	23/6/7...

フィルタ (1)

検索

一般

ステータス    リセット

書き込みエラー

オプションを選択

サイズ (バイト)

オプションを選択

最終更新日

オプションを選択

作成日

オプションを選択

メッセージ

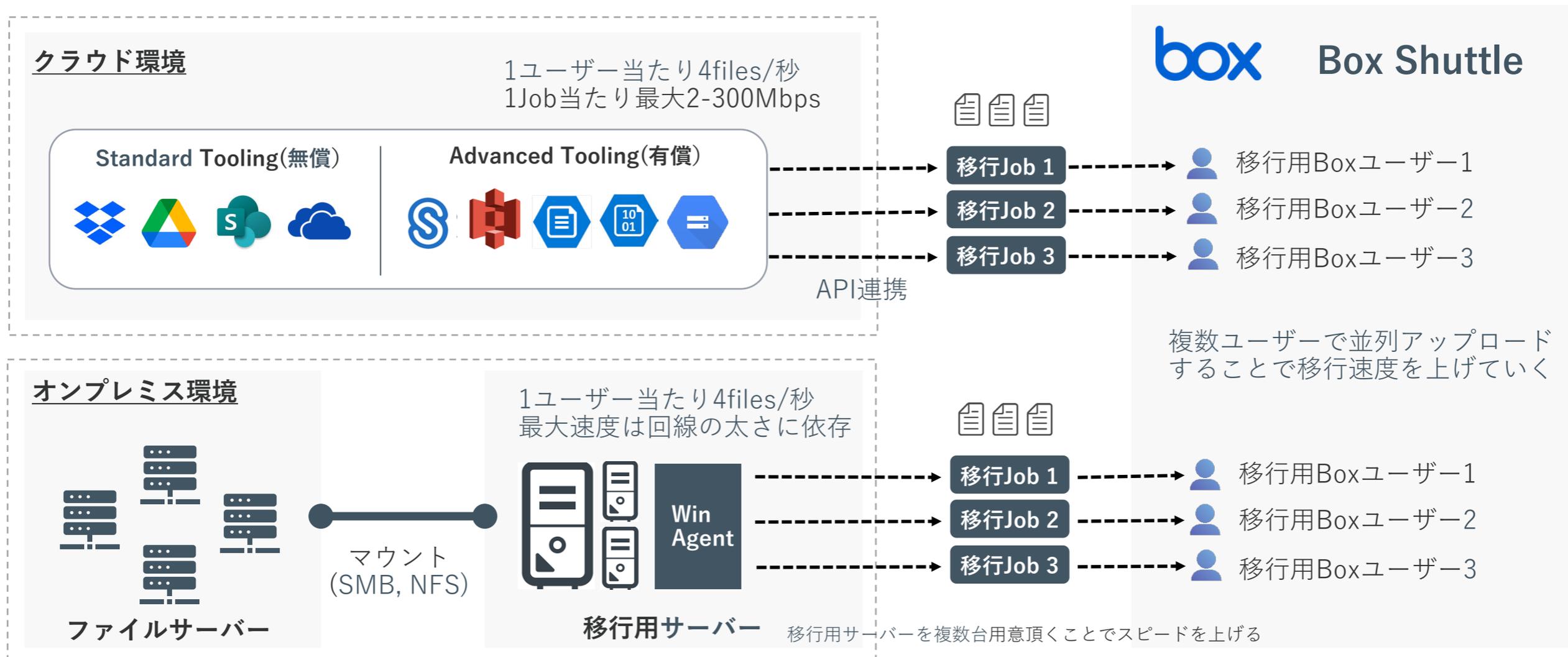
オプションを選択

ソース

フィルタをクリア    結果を表示

# Box Shuttleのアーキテクチャ

移行ツールをBoxの一部として提供。各サービスとはAPI連携で、オンプレは専用エージェントで移行。



# Standard ToolingとAdvanced Tooling

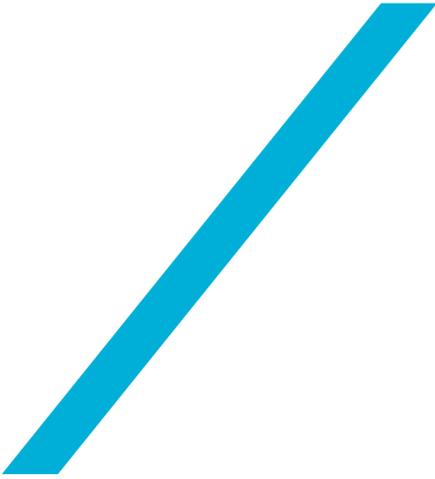
無償枠を超える場合、もしくは無償ツールにて未対応の環境からの移行はAdvanced Toolingをご利用頂く

Shuttle Standard Tooling	Shuttle Advanced Tooling
無償	有償
年間10TB（Enterprise Plusでは20TB） 複数年契約の場合、複数年分の利用枠をいつでも利用可能 (例: E Plus 3年契約 - 上限の60TBを3年間いつでも利用可)	1TB単位で有償契約 利用上限無し
Network File Share Windows disk and hard drives OneDrive for Business SharePoint Online Dropbox for Business Google Drive (Google Workspace)	Standardに加えて下記 Citrix ShareFile SharePoint Server 2007 and later AWS FSx and S3 Azure Files and Blob Storage GCP Filestore and Objectstore
フォルダ・ユーザーの一括マッピング不可	フォルダ・ユーザーの一括マッピング不可（今後提供予定）
スピードの調整不可	スピード調整可能 ※1（有償の移行サービスの契約が前提 ※2）

Boxの他の機能と同じく、パートナーおよびBox Supportにてサポートを行います。30TBを超える大規模データ移行は、後述のBox Consultingの支援サービスのご利用をお勧めします。

※1: 4files/secのレートリミットの引き上げを指しますが、実施をを確約するものではありません。Boxへの負荷が高いため、要件やBoxの負荷状況を見ながら総合的に判断します。

※2: 移行計画策定支援 + 技術・QAサービスをご契約頂き、コンサルタントが移行の全工程で状況をコントロール出来ることを前提とします。



# 相手方への Boxアカウント作成依頼のハードル

## オープンリンクとファイルリクエスト機能で解決

- Boxを使ったコラボレーション（フォルダへの招待、ファイル共有）は通常、Boxのアカウントが必要となります。
- Boxは無償でもアカウントを発行できますが、お客様や個人のお客様などにBoxのアカウントを発行いただくことにハードルが高い場合もございます
- Boxはアカウントを持たないユーザともコラボレーションする方法として下記があります。  
本資料を参考にご活用ください
  1. ファイルを見てもらう、ダウンロードしてもらう
    - 共有リンク（オープンリンク）→次項の②
  2. ファイルを受け取る、アップロードしてもらう
    - ファイルリクエスト機能→次項の④

# オープンリンクとファイルリクエスト機能で解決 Boxに作成したフォルダ階層サンプル



① 顧客別授受資料置き場	② 共有リンク	③ コラボレータ	④顧客からのデータ収集先 (ファイルリクエスト機能)
<ul style="list-style-type: none"> <li>各社と授受する/した資料はフォルダ別に格納してBox上で管理できます (サブフォルダも作成可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料送付の場合は共有リンク (ファイル取得用URL) を発行し、具体的なファイルの代わりに当該URLをメール送付するなどしてファイルのやりとりが可能です</li> <li>共有リンクの設定によってはBoxアカウントを持たなくてもファイルを閲覧またはダウンロードさせることができます (オープンリンク)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機能により、フォルダごとに、所属する社内ユーザ、社外ユーザが誰で、どんな権限を持たせるかを設定できます</li> <li>①の各フォルダに顧客をコラボレータとして招待してファイル授受もできますが、取引先にBoxアカウント (無料または有料) の作成が必要になります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本フォルダにファイルリクエスト機能を設定することによって、顧客からのデータ収集ができます (後述)。顧客はBoxアカウントが不要です</li> <li>各社ごとに収集先フォルダを個別に用意することも可能です (その場合ファイルリクエスト機能もそれぞれ有効化する)</li> </ul>

# オープンリンクとファイルリクエスト機能で解決

## ②共有リンク

- 共有リンクとはBoxに格納したファイルに付与する閲覧・ダウンロード用URLです
- 設定によりBoxアカウントがなくてもファイルをプレビューだけさせたり、設定によりダウンロードもさせられます
- ファイルの実体をメール添付する代わりに共有リンクをメール本文記載すれば、メール添付の必要なくファイルを送ることができます



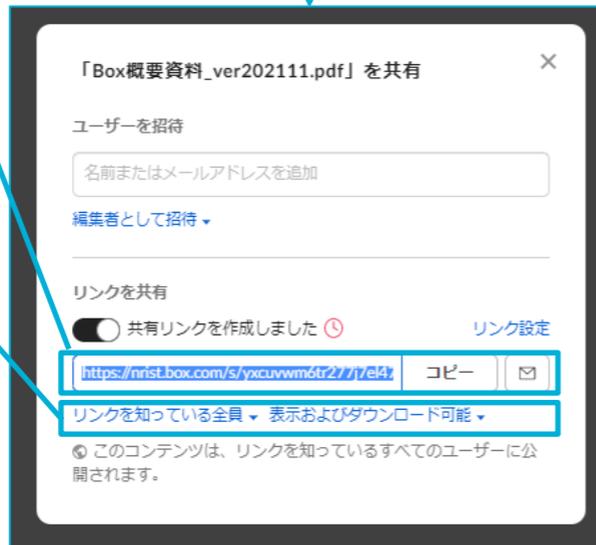
共有リンクにアクセスすると・・・  
ブラウザ上でプレビューしたりダウンロード可能

共有リンクをメール送付



共有リンク (URL)

共有リンク (オープンリンク) の設定  
→Boxアカウントがなくてもアクセスさせるには『リンクを知っている全員』を選択



## ④顧客からのデータ収集先 ファイルリクエスト機能

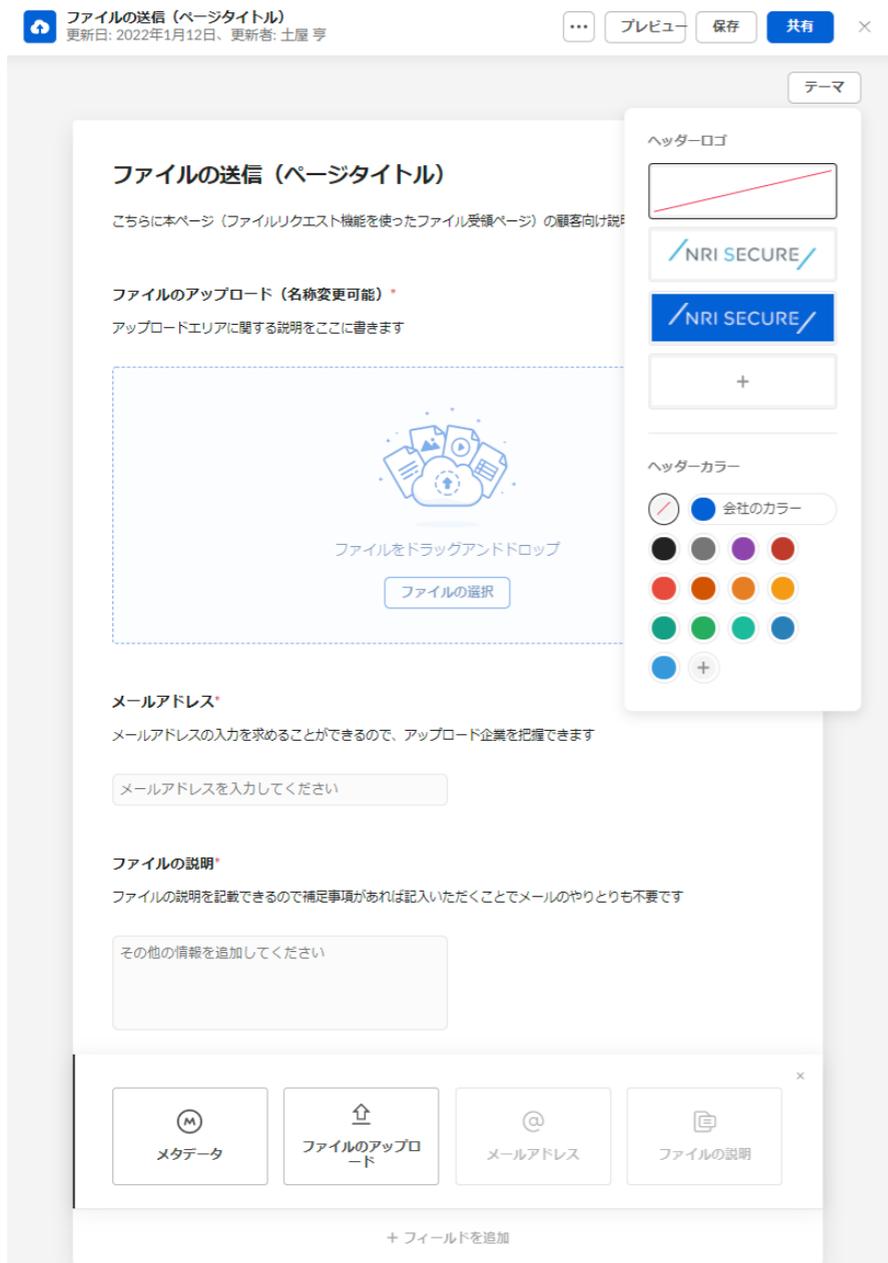
- 本機能は、あるフォルダを選択し、当該フォルダを保管場所として顧客からファイルを収集するだけのWebページを生成する機能です。
- Boxアカウントを持たないユーザからの一方的なファイル取得を目的に利用できます
- 収集用Webページはある程度のカスタマイズが可能です



収集ページへのリンク  
→本リンクを顧客に連絡して  
アクセスしてもらいます

収集ページはこちらの編集ボ  
タンからカスタマイズ可能で  
す (次項)

## ④ ファイルリクエスト機能 ～収集ページのカスタマイズ～



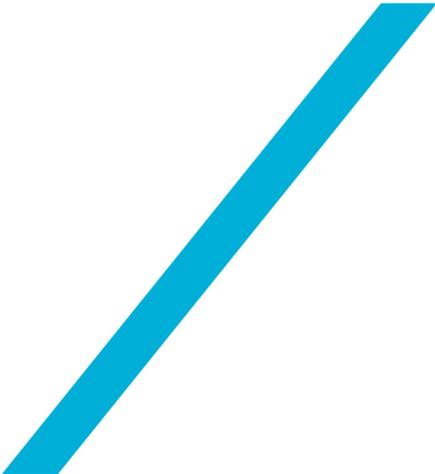
- 左記の図のように、ページ内のタイトル、説明、ファイルアップロードエリア、メールアドレス、色、ロゴなどをカスタマイズ可能です
- 本ページを経由してアップロードされたファイルが、設定された収集用フォルダに格納されます

### サンプル収集ページのリンク

<https://nrist.app.box.com/f/2f92ccfcfc594045a379d05ddee0b733>



- 上記URLまたはQRコードからアクセスいただくと、顧客から見た収集ページのサンプルをご覧いただけます（リンク切れの際は弊社までお問い合わせください）



# セキュリティリスク「感」の 社内ハードル

## Boxはなんか怖い・・・？

- ／ Boxのコラボレーション機能や高い自由度は、操作の文脈がミスや悪意に変わればそのまま情報持出しの容易さに見えてくる
- ／ 利便性とセキュリティのバランスはすなわち、従業員をどこまで信用して任せるかの線引を決めること
- ／ そのためには、Boxを使った情報持ち出しのケースを把握し、各ケースの企業にとっての発生しやすさや被害の程度を勘案して調整する必要がある（Boxらしさを考えずに極端に設計すれば社外への情報持ち出しを一切禁止することもできる）

# Boxを使った不正な情報持ち出しの 一例

# Boxの情報漏洩リスクケース 自社社員による機密データの秘密裏な外部共有

名前	更新日	サイズ
プロジェクトフォルダ	今日、更新者: 土屋 亨	1ファイル
[Redacted]	2019年8月20日、更新者: 土屋 亨	40.6 KB
[Redacted]	2019年10月10日、更新者: 土屋 亨	1.4 MB
[Redacted]	2019年10月10日、更新者: 土屋 亨	332.6 KB
[Redacted]	2019年10月10日、更新者: 土屋 亨	166.2 KB
[Redacted]	2019年10月10日、更新者: 土屋 亨	420.6 KB
[Redacted]	2019年10月10日、更新者: 土屋 亨	325.6 KB
[Redacted]	2019年10月10日、更新者: 土屋 亨	346.8 KB
[Redacted]	2020年3月24日、更新者: 土屋 亨	415.1 KB

# Boxの情報漏洩リスクケース 自社社員による機密データの秘密裏な外部共有

- ✓ この状況は、管理者不在の「無料アカウント」では把握も禁止もできない
- ✓ 契約テナントの有償アカウントであっても、BoxGovernanceオプションのホワイトリスト制限を利用しなければgmailなどの個人アカウントから招待されることを禁止できない

# Boxの情報漏洩リスクケース 社外から招待されたフォルダは詳細な監査困難

管理機能からユーザの管理フォルダを監査してみると

外部から招待されたフォルダは「外部フォルダ」として匿名化され、管理者でさえも確認できない

Box Admin  
外部コラボレータが所有するフォルダを閲覧できるのは、コラボレーションしているユーザーだけです。

ユーザー別フィルタ	全員アクセス	2016/07/17	2	6	...	□
管理機能からユーザの管理フォルダを監査してみると						
外部フォルダ		2018/09/14	2	4	...	□
外部フォルダ					...	□
外部フォルダ					...	□
外部フォルダ					...	□
外部フォルダ		2019/10/10	0	6	...	□
外部フォルダ					...	□
外部フォルダ					...	□
外部フォルダ					...	□

✓ 外部から招待されたフォルダは特別で、アクセス制御仕様上 管理者も閲覧できない

# Boxの情報漏洩リスクケース 社外から招待されたフォルダは詳細な監査困難

このアクティビティは、Gmailアカウントから招待されたフォルダへの機密情報のアップロード。「ExternalFile」と匿名化されることに注意

ユーザー	操作	対象	詳細	日付
土屋 亨 tsuchiya@nri-secure.co.jp	アップロード済み	External File 4 B	サービス: Multiput Uploads	2020年4月7日 14:52
高野 誠 takano@nri-secure.co.jp	ダウンロード	External File 5.2 MB	--	2020年4月7日 13:19
高野 誠 takano@nri-secure.co.jp	プレビュー	External File 5.2 MB	サービス: Box Elements (us...	2020年4月7日 13:19

- ✓ 契約テナントであっても、上記はBoxセキュリティ仕様上回避できない監査上のリスクになり得る
- ✓ 利便性や現実の運用を考えると、他社からの招待を禁止するのは難しいため、できる限りのセキュリティ設定と運用でリスクを受容できるか検討が必要（招待禁止はBoxGovernanceで可能）

# BoxGovernance によるセキュリティ統制の強化

# Boxの情報漏洩リスクと対策例

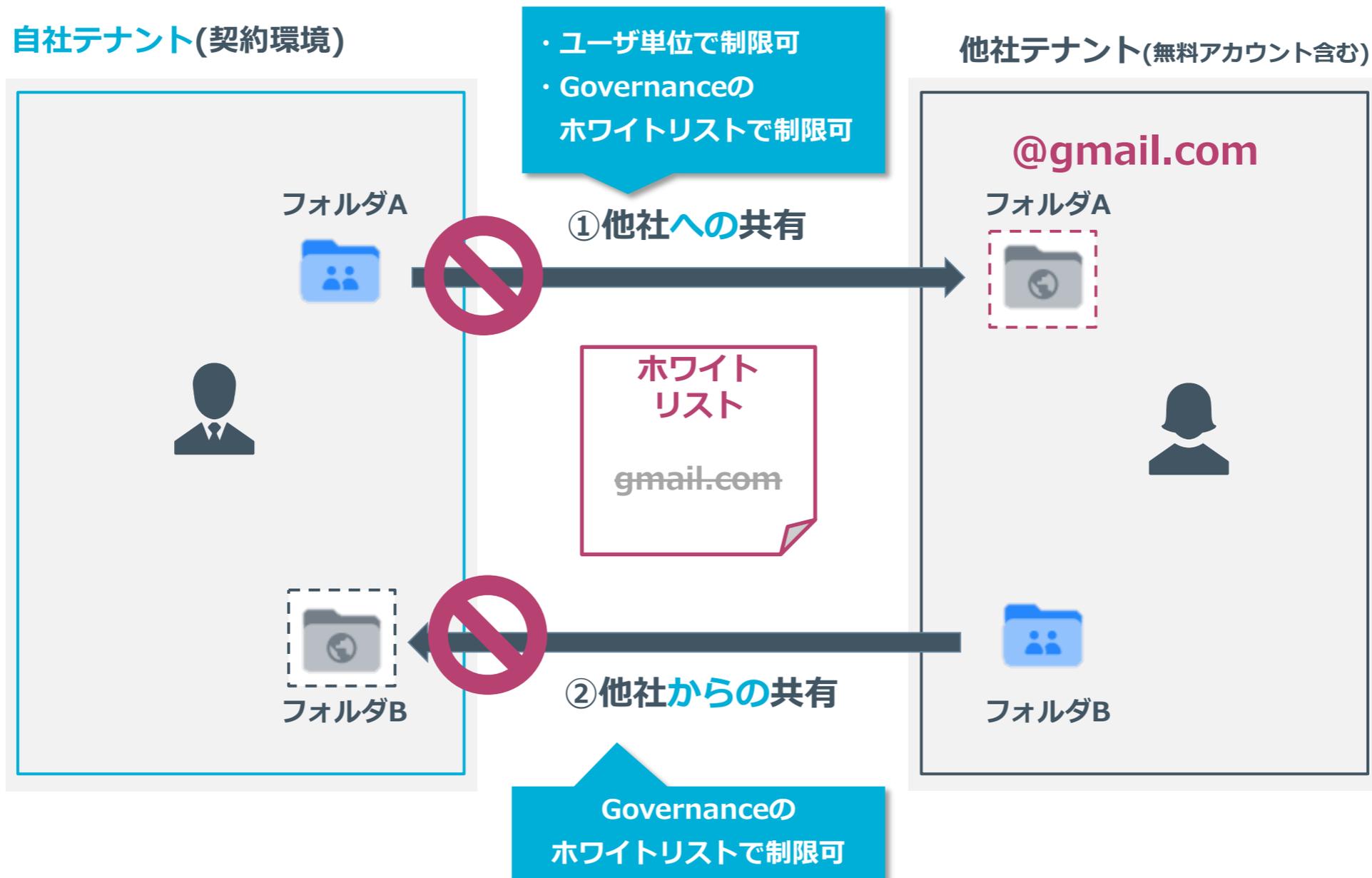
## Box Governance

### セキュリティ統制の強化を図る有償オプション

- 細かなコラボレーション制限
  - コラボレーションのホワイトリスト制御
- 不正操作の証拠隠滅防止
  - 無制限のバージョン管理
  - ゴミ箱からの抹消権限管理

The screenshot displays the Box Governance interface. On the left is a dark sidebar with the 'box' logo and a '管理者' (Admin) label. The sidebar menu includes: インサイト, ユーザーとグループ, コンテンツ, レポート, 分類, ガバナンス, Relay, Platform, アプリ, アカウントと請求, and Enterprise設定. The main content area is titled 'コンテンツと共有' (Content and Sharing) and has a search bar for 'ユーザーの検索'. Below the search bar are navigation tabs: < Platform設定, セキュリティ, コンテンツと共有 (selected), 通知, ユーザー設定, and モニタリング. The 'External Collaboration' section is active, showing two radio button options: '外部コラボレーションを有効にする' (unselected) and 'コラボレーションを許可リストに登録済みのドメインのみに制限する' (selected). A '許可リストの管理' button is visible. Below it is the '例外ユーザー:' section with a text input field for 'ユーザー名またはメールアドレス'. A modal dialog titled 'コラボレーション許可リスト' is open, featuring a close button (X), a text input field with the placeholder '許可リストにドメインを追加...', and an '追加' (Add) button. Below the input field, a list of domains is shown: test.co.jp, -sample.com, and +example.com.

## Externalを許容できる信頼先をホワイトリストに登録しコラボレーションを制限



## 🔧 コラボレーションホワイトリスト

コラボレーションを許可するドメインを指定



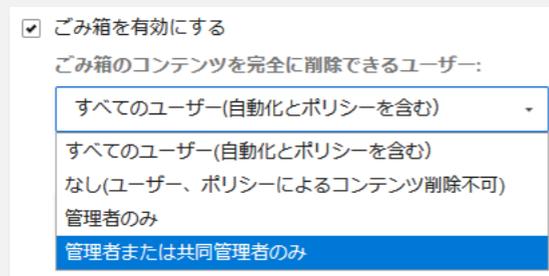
## 🔧 無制限のバージョン履歴

バージョン履歴をすべて保存可能

■ デフォルトのバージョン履歴数  
Business Plus版 : 50  
Enterprise版 : 100 → **無制限**

## 🔧 ごみ箱の設定

ごみ箱のコンテンツを完全に削除できる権限を、適切なユーザーだけに付与



## 🔧 リテンション管理

コンテンツ保持期間の指定やファイルの削除を自動化するためのポリシーを設定

設定例



**5年間は  
ファイル削除不可**

ファイル/フォルダ/テナント単位でポリシー適用

## 🔧 リーガルホールド

訴訟や調査に関連したユーザーやコンテンツを保持

選択した期間に対象ユーザーがアクセス権限を保有/操作したすべてを保持



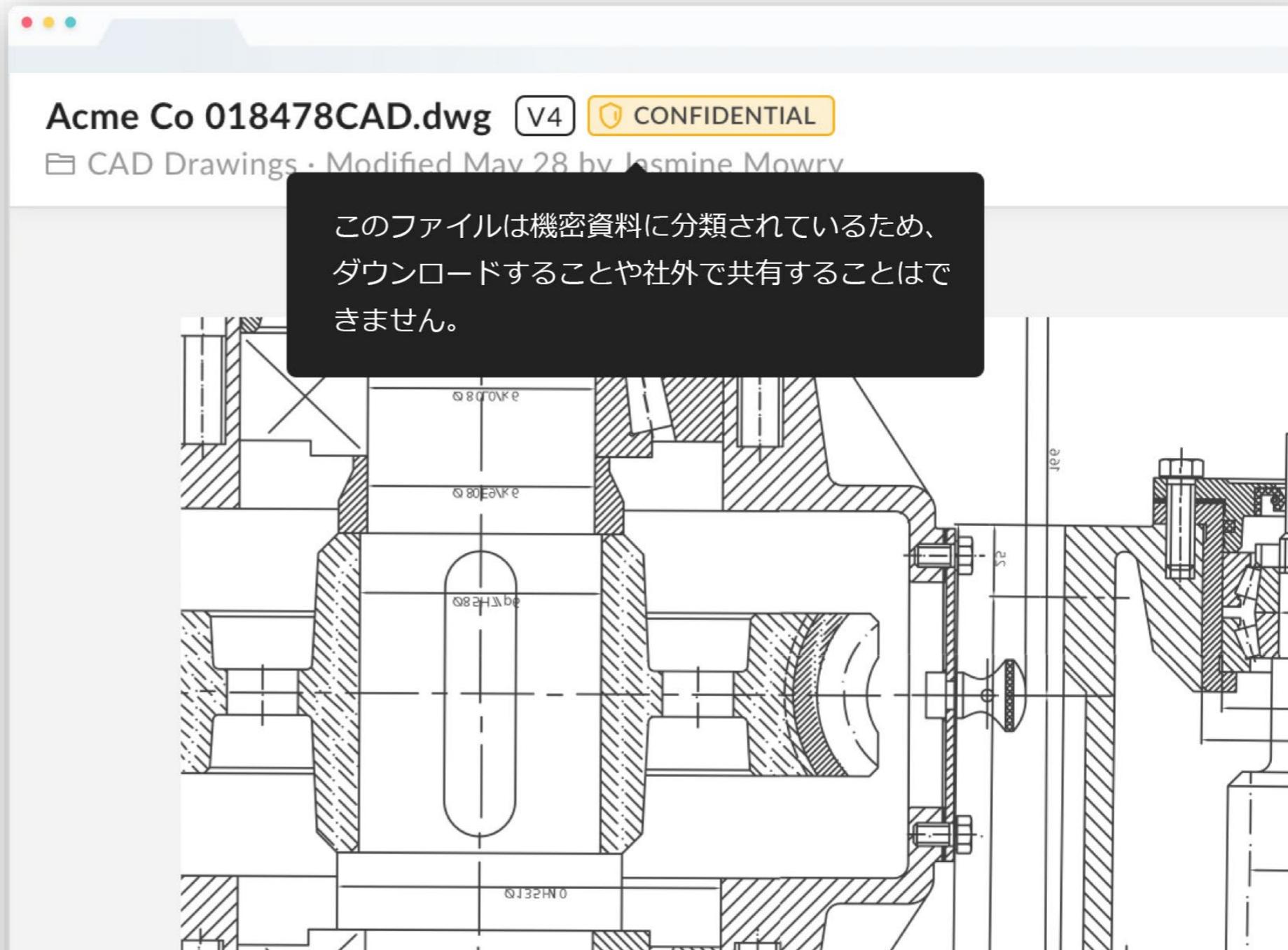
# BoxShieldによる不正操作防止強化

### スマートアクセス

- あらかじめポリシー設計したラベルをファイルに付与
- たとえユーザに権限があってもファイルにとって許可されない操作は禁止される (→)

### 脅威検出

- 機械学習を用いた不審な振る舞いの検知



# ご参考 : Box Shield

※Box Consulting/BoxPremierサポートの契約が必要



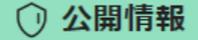
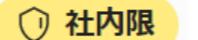
誤操作(不正操作)が心配...  
誤った人の招待や、  
非公開データを外部に共有しないかな..



不正なアクセスや  
悪意のあるコンテンツを検知したい

## スマートアクセス

分類ラベルが付与してコンテンツを制限

フォルダ/ファイル	+	分類ラベル
 		 

**アクセスポリシー設定**

■ アクセスポリシー設定例  
外部コラボレータ : 主要パートナーリストを除くすべてを制限  
ダウンロード : 外部コラボレータは不可  
印刷 : 外部コラボレータは不可

※分類ラベルはCASB製品によって自動付与可能

## 脅威検出

脅威シナリオを想定し検知ルールを作成

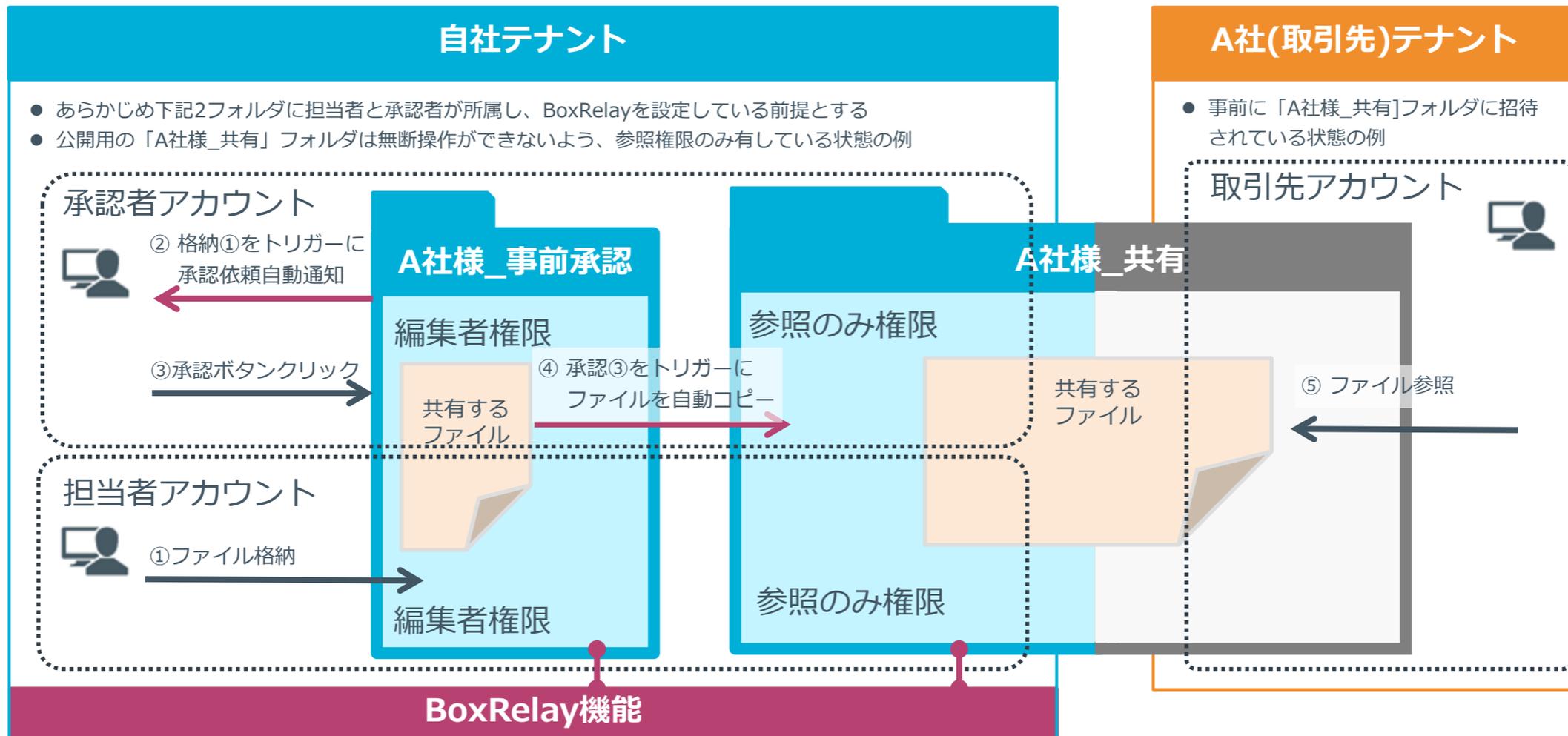
検知ルール	検知アラート
   	  

機械学習に基づくルールと  
手動設定するルールで構成

# BoxRelayを使った承認機能構築例

# BoxRelayを使った承認機能構築例

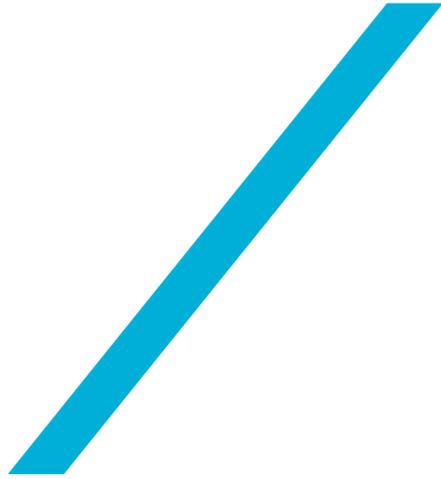
- 自社所有フォルダ（他社所有不可）であればBoxRelayで共有前の承認行為が可能です。
- 下記例では、①の格納をトリガーに「承認タスク」の通知を自動で行い、承認後はファイルを自動で顧客共有用の「A社様\_共有」に自動コピーするシナリオを組み立てます。
- なお、動的なフォルダ指定の自由度はないため、用途ごとにフォルダのペアとRelay設定が必要です。



## ご留意事項

---

- トリガーとして指定できるフォルダは自社所有のフォルダのみです。他社から招待されたフォルダをトリガーとすることはできません
- 例えば社外共有するフォルダ（宛先や案件）が10ある場合、10ペアのRelay設定を事前に行う必要があるため運用負荷が高くなるケースがあります
- Relay運用の使い勝手は、実際に検証いただきご判断いただくことをおすすめいたします



# テナント設定のハードル

# テナント設定のハードル



**NRIセキュアが実現できること**

# Boxのセキュリティ課題と対策ノウハウ提供が可能です

## 弊社までお問い合わせください

- / NRIセキュアはセキュリティ専門家としての立場から、**Boxの高い自由度ゆえの情報漏えいリスクを検証しノウハウとして整理し、有償オプションや他のセキュリティ製品との併用を含め取りうる対策例をご用意しております**
- / フォルダ設計やテナント設定に関する工程では**弊社セキュリティ設計のノウハウをご提供し、貴社セキュリティベースラインに合わせたセキュリティ要件・設計のチューニングをご支援します**

### Boxセキュリティ課題と対策一覧

操作ミスや内部不正を含め、Boxを使うことで生じる情報漏えいリスクについて課題と対策をまとめております

### Boxの情報持ち出しリスクと対策一覧

お問い合わせを多く頂くポイント ○: 根本対策 △: 部分対策

観点	項番	持ち出しリスク/監査リスク	Box機能による対策例				その他対策	
			Bus	Bus+	Ent/Ent+	有料オプション	運用対策	3rdParty
認可外アカウントの利用	1-1	会社ドメインを使った無料アカウントの作成・私的利用		○AutoRoll-in				○CASB製品
	1-2	私的に作成した無料アカウントの社内環境からの利用		△BoxVerifiedEnterprise		○URLフィルタリング		○CASB製品
	1-3	プロジェクト終了、退職など役目を終えた残存アカウントの利用		△レポート出力		○ログから紐解		
認可外環境への持ち出し	2-1	許可されたネットワーク外からの契約テナントの利用	-	○IPアドレス制限				
	2-2	ポリシー違反デバイスからの契約テナントの利用		○SSO認証連携(IdPにてポリシー判定) ※Entはデバイストラストあり				
	2-3	会社アカウントとコラボレーションした私的/不正な外部ドメインアカウント		-		○Governance (ホワイトリスト)		
	2-4	Box上の特定コンテンツを本来許可されていない相手に共有 (コラボ/共有リンク)		-		○Shield		
	2-5	認証強度不足を要因とした不正ログイン		○SSO認証連携(IdPにて認証強度を保証) ※Entはパスワードポリシー設定可				
危険・不正なBox操作	3-1	ユーザのモラル/テラシーの無い無秩序なフォルダ作成・共有		○クロスドフォルダ構成				
	3-2	ウイルス/マルウェアのアップロード・共有		△VirusScan		○Shield		○CASB製品
	3-3	不正操作の証拠隠滅 (ゴミ箱からの抹消、バージョン履歴からの消し出し)		-		○Governance (匿名、ゴミ箱削除)		
危険なBox操作の監視	4-1	Boxへのアップロードミス (ファイルの取り違え、機密情報の誤った社外共有)		△通知機能 (アップロード)		△Relay (承認タスク)		
	4-2	不正な操作 (振る舞い) (マルウェアアップロード/大量ダウンロード/セッションハイジャック等)		-		○Shield	△ログ監査	
社外フォルダの匿名化	5	社外から招待されたフォルダや操作の履歴が管理者向けには匿名化される		-		△Governance (ホワイトリスト)		△CASB製品
データレシデンシー	6	データが海外DCに保管される		-		○BoxZones*		
ファイルの独り歩き	7	Boxからダウンロードされたあとのファイルはトレースできない		-				○IRM製品

NRI SECURE © NRI SecureTechnologies, Ltd.

\* インデックス情報など、一部データはBox北米DCに保管

8

# 会社概要



NRIセキュアテクノロジーズは野村総合研究所を母体とする  
企業情報セキュリティのリーディングカンパニーです

社名	NRIセキュアテクノロジーズ株式会社（略称：NRIセキュア）
事業内容	企業の情報セキュリティに関するソリューションの開発・提供
設立年月日	2000年8月1日 ※サービス提供開始：1995年
資本金	4.5億円
株主	株式会社野村総合研究所
代表取締役社長	建協 俊一
社員数	連結：650名、単体：546名（2023年1月1日現在）
拠点	東京（本社）、横浜、アメリカ合衆国（北米支社）
グループ会社	株式会社ユービーセキュア、株式会社NDIAS
認証取得	ISO/IEC 27001認証取得  IS 75215 / ISO 27001

## セキュリティコンサルティング

国内サイバーセキュリティ  
コンサルティングサービス市場



3年連続  
シェアNo.1  
ITR Market View2019

## セキュリティ監視・SOC

ジャパン  
マネージドセキュリティサービス



4年連続受賞  
2020フロスト&サリバン  
ベストプラクティスアワード

## セキュリティ診断

国内Webアプリケーション  
脆弱性検査ツール市場



5年連続  
シェアNo.1  
富士カメラ総研2019年度調査

## セキュリティソリューション

統合IAMソリューション  
「Uni-ID Libra」  
IDM/IAM市場



3年連続  
シェアNo.1  
ITR Market View2021

NRIセキュアテクノロジーズの付加価値

**セキュリティをごまかさない。**

**便利・便益を前にしても揺るがない。**

NRIセキュアテクノロジーズの付加価値

**このスタンスを取れる会社だからこそ  
セキュリティにフェアな立場から  
お客様にメリット・デメリットを  
正直にご提案できる**

# セキュリティと利便性は利益相反の関係になりやすい。 NRIセキュアはその構造上、セキュリティを正義とした事業継続が行える

## NRIセキュアという会社

- NRIの完全子会社であり、株式市場の原理から離れて経営の自由度が高く、敵対的買収のリスクもない
- NRIグループからセキュリティの専門家集団としての職能を期待されており、自らの職能に集中できる
- セキュリティは目に見えず、利益追求を前に一定の線引がされがちな部分  
NRIセキュアはその構造上、セキュリティに軸足をおいた意思決定や投資開発を付加価値とし事業継続できる企業
- 社員は全員野村総合研究所(NRI)の採用を経て出向し、待遇は共通※  
NRI社員としてのマインド・スキルセットを備えマネジメントや品質の基準も同等

※ 参考：NRIセキュア採用ページ募集要項：<https://www.nri-secure.co.jp/recruit/recruit/recruitment-info>

【目的】

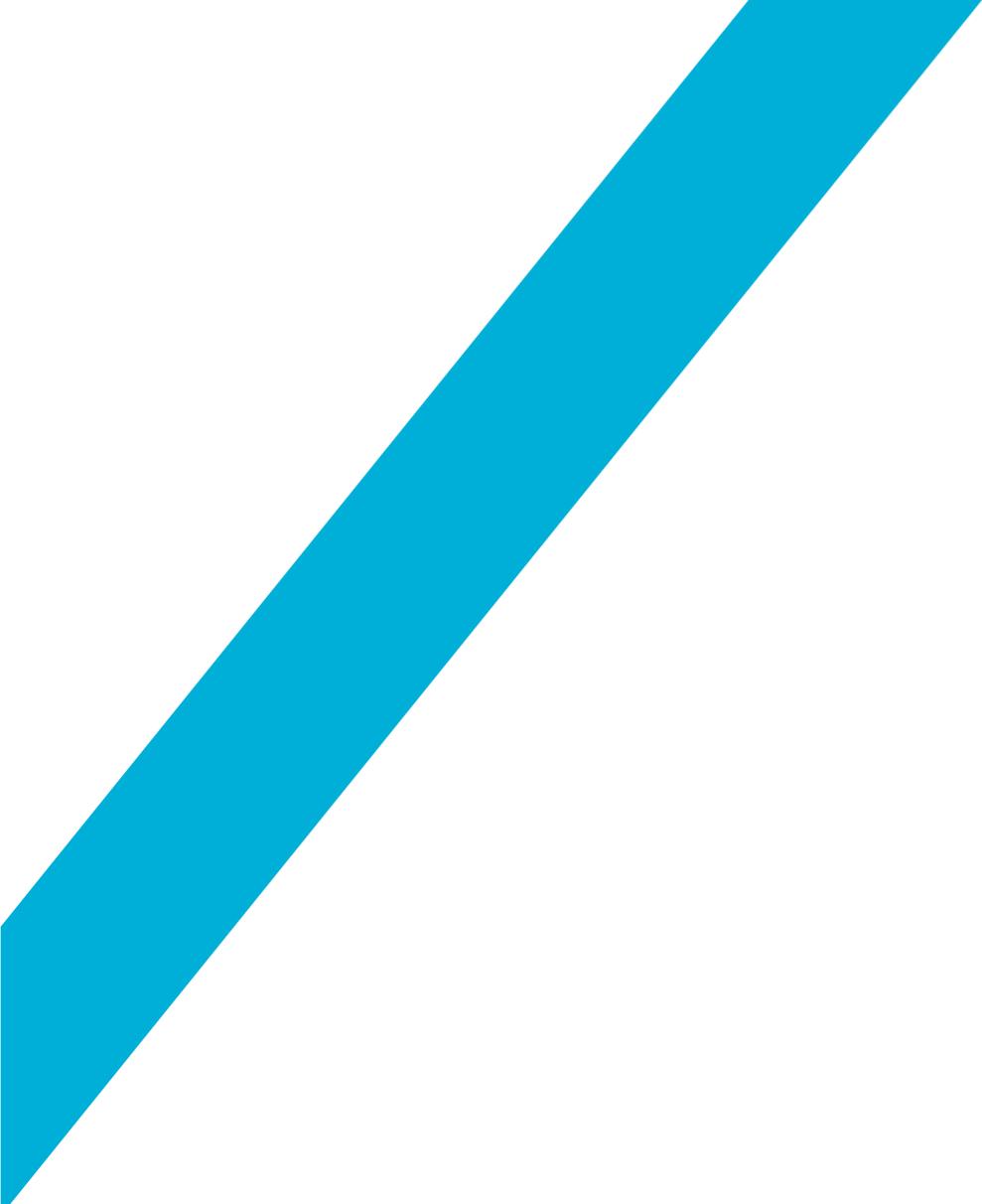
“

”

# 自社にとって ベストなPPAP対策の方針を決める

PPAP対策の投資に見合う効果をどう作るか

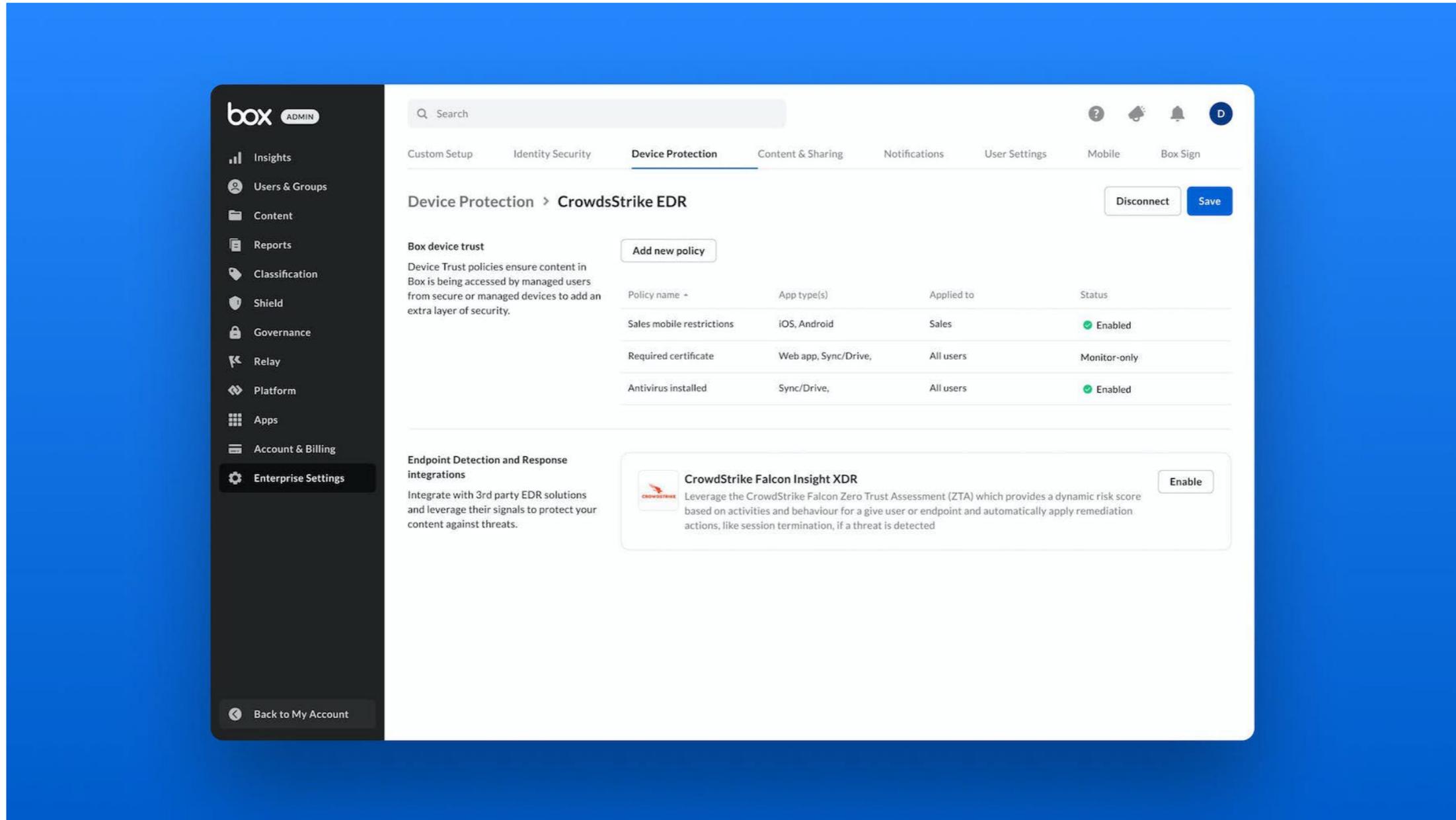
貴社と是々非々で検討を進めていけるパートナーとして  
NRIセキュアテクノロジーズにお問合せいただけましたら幸いです



/ NRI SECURE /

# 大手EDR製品 CrowdStrikeとの連携機能が登場予定

<https://www.boxsquare.jp/blog/boxworks-2023-unlock-value-your-content>



# BoxAIのベータ版が登場

## 現在はBox EnterprisePlusユーザーにベータ提供中

The screenshot displays the Box AI beta interface. At the top, the Box logo is on the left, and navigation links for '製品' (Products), 'ソリューション' (Solutions), '事例' (Cases), 'サポート' (Support), '販売代理店' (Sales Partners), '価格' (Pricing), and 'お問い合わせ' (Contact Us) are on the right. Further right are 'サインアップ' (Sign Up) and 'ログイン' (Login) buttons. Below the navigation is a '近日リリース' (Coming Soon) badge, followed by the 'Box AI' logo and the headline 'コンテンツの価値を最大化' (Maximize Content Value). Two buttons, '動画を見る' (Watch Video) and 'データシートを見る' (View Data Sheet), are positioned below the headline. The main content area features a document viewer for 'Market Research Report.pdf'. The document title is 'Market Research Report' with a subtitle 'Market Overview'. The document content includes a '5%' growth rate and a '200%' figure. Several AI-powered prompts are overlaid on the document, each with a user profile icon and an upward arrow: 'Summarize this document', 'Ask me anything about this document', 'Create a talk track for this report', 'Write a blog post highlighting the key takeaways', 'Outline the action items', and 'Generate a detailed meeting agenda'.